

平成30年度  
和歌山市立博物館館報

No. 34

# 目 次

## I 事業概要

### 1. 展観事業

常設展示	2
春季企画展	2
夏季特別展	4
秋季特別展	8
冬季企画展	11
ホール展示	12
コーナー展示	12

### 2. 教育普及事業

史跡散歩	12
体験学習	13
講座等	14
回想法プログラム	14
博物館実習	14
ミュージアムボランティア	15
職場体験	15
ウェブサイト	15

### 3. 調査研究事業

職員の執筆文献	15
職員の教育普及活動	16

### 4. 市史資料管理事業

## II 収蔵資料概要

1. 購入資料概要	18
2. 受贈資料概要	18
3. 受贈図書概要	18
4. 資料の貸出	28
5. 映像資料概要	29

## III 令和元年度の計画

1. 令和元年度事業予定概要	30
2. 令和元年度博物館当初予算	32

## IV 資料

入館者の動向	33
アンケートの集計	35
館機構	36
博物館職員	36
和歌山市立博物館協議会委員名簿	36
和歌山市立博物館条例	37
和歌山市立博物館条例施行規則	40

# I 事業概要

## 1. 展観事業

### ○常設展示

1階の常設展示室（約1,000㎡）では、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマとして、原始・古代・中世・近世・近代・民俗の6つのコーナーに分け、それぞれに関連資料を展示している。

各コーナーでは、随時資料の展示替えを行っているほか、民俗及び近世コーナーの一部の展示ケースを利用して「コーナー展示」を定期的実施している。

### ○春季企画展

#### 「和歌の浦には名所がござる」

〈開催期間〉4月21日（土）～6月3日（日）

〈開催日数〉38日間

〈入館者数〉1,513人

〈開催趣旨〉

昨年、「絶景の宝庫 和歌の浦」が日本遺産に認定された。和歌の浦は古来から多くの人々に親しまれてきたが、和歌の浦はもとより和歌川河口に位置し、自然が織りなす美観を整えていた。聖武天皇の行幸以後、寺社などが創建され、和歌の浦は自然的要素と歴史的要素とが調和した景勝地として全国にその名が知られていた。

今回の展示では、和歌の浦を題材とした絵画や絵図、写真などをおして様々な名所を紹介し、その魅力をさぐった。

〈展示構成〉

- 1 **和歌の浦の景色** 和歌の浦の眺望、和歌の浦の名物
- 2 **和歌の浦の名所** 玉津島神社、鹽竈神社、妹背山、不老橋、片男波・和歌川河口、紀州東照宮、和歌祭、和歌浦天満宮、新和歌浦、紀

三井寺

〈講演会〉

5月19日（土）14時～15時

「城下町和歌山の祭礼—和歌祭と日前宮砂持祭について—」 高橋克伸（本館学芸員）

〈古写真上映会〉

5月12日（土）14時～15時

「昭和初期の和歌の浦」 太田宏一（本館学芸員）  
〈展示解説〉

4月28日（土）、5月26日（土）

※いずれも14時～15時

〈出品目録〉

### I 和歌の浦の景色

#### 和歌の浦の眺望

1	三十三間堂棟木の由来絵はがき	館蔵
2	和歌浦物語	館蔵
3	和歌名所記	館蔵
4	菓子木型 和歌浦名所（8景）	館蔵
5	和歌浦図屏風	館蔵
6	和歌浦図屏風	館蔵
7	和歌浦図	館蔵
8	錦絵 日本三景之内紀州和歌之浦之勝景	館蔵
9	錦絵 日本三景之内紀州和歌之浦之勝景	館蔵
10	紀州自名草山和歌之浦眺望之図	館蔵
11	紀伊国和歌浦真景	館蔵
12	紀州和歌浦之図	館蔵
13	和歌之浦公園景	館蔵

#### 和歌の浦の名物

14	和歌浦名所記	館蔵
15	玉津島社絵図並和歌名所	館蔵
16	和歌海苔道具	館蔵
17	写真26 海苔風景	館蔵
18	写真27 海苔製造	館蔵
19	写真28 海苔製造	館蔵
20	写真29 海苔製造	館蔵

21	写真30 海苔製造	館蔵
22	芦辺の団扇	館蔵
23	テッポウガニ置物	館蔵
24	南紀男山染付煎茶茶碗	館蔵
25	テンボガニ写真	館蔵
26	徳川治宝下賜和歌浦尽硯箱	館蔵
27	菓子木型 根上松	館蔵
28	南紀男山染付根上松図水指	館蔵
29	写真02 根上松	館蔵
30	和歌浦之図(淡彩)	館蔵
31	紀州和歌浦絵図	館蔵
32	写真48 和歌浦遠望(塩田)	館蔵
33	写真68 製塩工場	館蔵
34	写真37 出島漁港	館蔵
35	写真53 干し魚	館蔵
36	写真54 シラス漁	館蔵
37	写真59 イリコ干し	館蔵
38	松茸収穫写真	館蔵

## II 和歌の浦の名所

### 玉津島神社・鹽竈神社

39	玉津島図盃	館蔵
40	衣通姫像	玉津島神社
41	衣通姫像板木	玉津島神社
42	衣通姫画像	館蔵
43	狩野古信筆 和歌浦図	玉津島神社
44	写真12 玉津島神社	館蔵
45	写真21 奠供山	館蔵
46	明光浦十景図のうち 興窟浪華	館蔵
47	写真13 塩竈神社	館蔵

### 妹背山(三断橋 下がり松 多宝塔 観海閣)

48	錦絵 日本地誌略図 和歌の浦	館蔵
49	錦絵 府県名所図会 和歌山県紀伊和歌の浦	館蔵
50	錦絵 諸国六十八景 紀伊和歌之浦	館蔵
51	紀州若の浦	館蔵

52	観海閣懸魚	館蔵
53	和歌浦図	館蔵
54	菓子木型 和歌の浦	館蔵
55	写真7 三断橋	館蔵
56	写真8 下り松	館蔵
57	写真9 多宝塔と観海閣	館蔵
58	写真11 妹背山と観海閣	館蔵

### 不老橋

59	南紀男山染付和歌浦不老橋絵鉢	館蔵
60	南紀男山染付和歌浦菓子鉢	館蔵
61	菓子木型 不老橋	館蔵
62	不老橋親柱	館蔵
63	不老橋欄干(破片)	館蔵
64	不老橋修理文書	館蔵
65	紀州和歌浦真景名草山登臨図	館蔵
66	紀州和歌浦真景名草山登臨図	館蔵
67	写真14 不老橋遠景	館蔵
68	写真16 不老橋	館蔵
69	写真17 不老橋畔	館蔵

### 片男波

70	和歌浦図	館蔵
71	吉野和歌浦真景図巻	館蔵
72	青織部沓形茶碗 銘和歌浦	館蔵
73	写真22 片男波全景	館蔵
74	写真23 片男波海水浴場	館蔵

### 東照宮

75	徳川頼宣肖像	館蔵
76	東照宮縁起絵巻(複製)	館蔵
77	名所図画	館蔵
78	紀伊名所	館蔵
79	写真89(市電) 御手洗池	館蔵
80	写真33 東照宮	館蔵

### 和歌祭

81	わかまつり絵巻・目録	個人蔵
82	和歌祭行列之図	個人蔵
83	団扇絵	館蔵

84	四月十七日和歌御祭行列次第 和歌 浦勝景之図	館蔵
85	和歌御祭礼図屏風	館蔵
86	和歌雑賀祭図	館蔵
87	和歌祭写真帖	館蔵

### 天満宮

88	和歌浦図巻	館蔵
89	紀伊国名所図会	館蔵
90	写真35 天満宮	館蔵
91	写真65 境内掃除（勤労奉仕）	館蔵

### 新和歌の浦

92	和歌浦名所交通案内鳥瞰図	館蔵
93	新和歌浦名所交通案内鳥瞰図	館蔵
94	旅館案内パンフレット	館蔵
95	観光パンフレット	館蔵
96	観光案内冊子	館蔵
97	写真38 米栄別荘	館蔵
98	写真39 和歌浦湾	館蔵
99	写真40 地引網	館蔵
100	写真41 第1トンネル	館蔵
101	写真44 旅館街1	館蔵
102	写真47 旅館街4	館蔵
103	写真49 望海楼	館蔵
104	写真50 南海遊園	館蔵
105	新和歌旅館パンフレット	館蔵
106	ロープウェイパンフレット	館蔵
107	水族館パンフレット	館蔵

### 紀三井寺

108	紀三井寺参詣曼荼羅(複製)	館蔵
109	観音靈験記 西国巡礼第二番紀三井寺	館蔵
110	西国三十三番札所観音靈験記	館蔵
111	西国三十三所方角	館蔵
112	久野丹波守和歌浦荘図巻	館蔵
113	紀州名草郡紀三井山護国院金剛寶寺	館蔵
114	明光浦十景図のうち 名草晩潮	館蔵

115	南紀男山染付紀三井寺図水指	館蔵
116	菓子木型 紀三井山	館蔵
117	写真50 掘割溝	館蔵
118	写真49 紀三井寺全景	館蔵
119	写真53 楼門	個人蔵

## ○夏季特別展

### 「和歌山城再発見！」

〈開催期間〉7月14日(土)～8月26日(日)

〈開催日数〉38日

〈入館者数〉2,420名



〈開催趣旨〉

和歌山城は、和歌山市のシンボルとして、また築城以来、政治・文化の中心となってきた。昭和20年(1945)7月9日の空襲によって和歌山市の中心部と和歌山城の大半は焼失したが、その後、和歌山市は復興し、和歌山城天守閣は昭和33年

10月1日に再建され、平成30年は再建から60周年を迎えた。

この特別展では、発掘資料をまじえて、近世の和歌山城に関する資料をできる限り集めて展示し、和歌山城の歴史と文化を明らかにした。和歌山市の人々が郷土の歴史や文化財に親しみ、また、和歌山の観光や町づくりなど、新たな文化的創造のきっかけとなるよう企画・開催した。

〈展示構成〉

- I. 和歌山城の成り立ち
- II. 和歌山城の構造と暮らし
- III. 三の丸と武家屋敷

〈特別講演会〉

8月4日(土) 午後2時～3時30分

「近世城郭と和歌山城」

千田嘉博氏(奈良大学文学部教授)

〈講演会〉

7月21日(土) 午後2時～3時30分

「城下町和歌山と和歌祭」

前田正明氏(和歌山県立博物館主任学芸員)

「和歌山城二の丸大奥の発掘調査」

北野隆亮氏(和歌山市埋蔵文化財センター長)

7月28日(土) 午後2時～3時30分

「発掘調査からみた和歌山城の地形」

大木 要(文化振興課学芸員)

「お城の事件簿—「類集略記」にみる和歌山城」

山下奈津子(和歌山城整備企画課学芸員)

8月18日(土) 午後2時～3時30分

「和歌山城と城下町の風景」

額田雅裕(本館学芸員)

「戦後の和歌山城天守閣再建」

大山僚介(和歌山城整備企画課学芸員)

〈展示解説〉※いずれも午後2時～3時

7月14日(土)・8月25日(土)

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、地図や解説などを掲載した特別展図録『和歌山城再発見!』(A4版、96ページ、1,000円)を発行した。

〈協力者〉(50音順、敬称略)

遠北明彦、遠北光彦、池下 実、稲山陽子、岩鶴密雄、江川和樹、応其寺、大阪城天守閣、大澤類里佐、太田昭子、大野弘孝、岡本 侑、萩野谷正宏、上三毛自治会、亀井欣也、紀州東照宮、北川央、木下 誠、光恩寺、佐伯和也、酒井俊之、芝田浩子、春岳院、瀬谷今日子、惣光寺、高垣善信、高橋健二、高橋俊雄、高橋智也、高橋信雄、龍野直樹、玉津島神社、丹野 拓、津観音大宝院、東京大学史料編纂所、藤 隆宏、中村 努、西川秀紀、西川秀大、西村保彦、ニュース和歌山株式会社、藤永隆弘、前田正明、松井隆憲、松江歴史館、溝端佳則、宮本裕次、柳瀬智明、藪中真弘、理智院、和歌山県教育委員会、(公財)和歌山県文化財センター、和歌山県立伊風土記の丘、和歌山県立図書館、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団、和歌山城、わかやま歴史館、和中美喜夫

〈出品目録〉

## I. 和歌山城の成り立ち

### (1) 中世の終焉と和歌山城築城

#### ① 信長・秀吉の紀州攻め

No.	資料名称	所蔵者
1	城山遺跡出土鉛インゴット	和歌山市教育委員会
2	鷲ノ森遺跡堀跡出土遺物	和歌山市教育委員会
3	火縄銃	
4	鉛製鉄砲玉(太田城跡出土)	和歌山市教育委員会
5	□鉄錆地雑賀鉢兜(重要美術品)	館蔵
6	太田城由来并郷土由緒書	
7	総光寺由来并太田城水責図(複製)	館蔵(原本:惣光寺)
8	豊臣秀吉画像	大阪城天守閣
9	羽柴秀吉朱印状 4月22日付	

#### ② 和歌山城の築城

10	羽柴秀長画像 王仲宗瑋賛(模本)	東京大学史料編纂所
11	羽柴秀長画像(写真パネル)	春岳院
12	羽柴秀長判物	

13	桑山重晴木像	理智院
14	藤堂高虎画像(模本)	東京大学史料編纂所
15	藤堂高虎画像(写真パネル)	津観音大宝院
16	桔梗紋軒丸瓦	和歌山城整備企画課
17	桔梗紋軒丸瓦	和歌山市教育委員会

## (2) 浅野期の和歌山城

18	極秘諸国城図 紀州和歌山(写真パネル)	松江歴史館
19	違鷹羽紋滴水瓦	和歌山市教育委員会
20	違鷹羽紋軒丸瓦	和歌山市教育委員会
21	陶磁器類(本丸跡出土)	和歌山市教育委員会
22	瓦類(本丸跡出土)	和歌山市教育委員会
23	□浅野左衛門佐書状(橋本町必 要之古書1巻)(写真パネル)	応其寺

## (3) 徳川頼宣の入国

24	徳川頼宣画像	館蔵
25	山本養和筆 龍祖進軍図巻(複製)	館蔵(原本:紀州東照宮)
26	◎南蛮胴具足 徳川家康所用	紀州東照宮
27	○黒漆塗鞍 駿州井関作 徳川家康所用	紀州東照宮
28	○黒漆塗鐙 徳川家康所用	紀州東照宮
29	◎太刀 銘 安綱	紀州東照宮
30	大君言行録	館蔵

## II. 和歌山城の構造と暮らし

### (1) 城内絵図

No.	資料名称	所蔵者
31	和歌山御城内総御絵図(複製)	館蔵(原本:和歌山県立図書館)
32	自欠作町到御城之図 附遠望御城之図	和歌山県立図書館

### (2) 建築

#### ①天守

33	御天守起シ御絵図	
34	御天守御絵図	
35	和歌山城天守再建棟札写	館蔵

36	御用留	館蔵
37	上三毛村観音堂再建勸進帳版木	上三毛自治会
38	瓦屋町絵図	館蔵
39	此度丁名相増又者相改候略図	館蔵
40	青銅製虬	和歌山城整備企画課
41	唐草紋滴水瓦(嘉永再建時)	和歌山城整備企画課
42	菊唐草紋滴水瓦(嘉永再建時)	和歌山城整備企画課
43	□地鎮具(天守台出土)	和歌山城整備企画課

#### ②本丸

44	御本丸御絵図	
45	三葉葵紋鬼瓦	和歌山城整備企画課
46	三葉葵紋鬼瓦	和歌山城整備企画課
47	絵はがき 和歌山城七福岩(写真パネル)	
参考	光恩寺庫裡杉戸絵(写真パネル)	光恩寺

#### ③二の丸と大奥の暮らし

48	和歌山二の丸大奥当時御有姿之図(複製)	和歌山城整備企画課
49	和歌山城山中本陣絵図	館蔵
50	上使之節御唐門用仮廊下御対面所前御張出シ等御差図 包紙付	
51	御境内見取図	和歌山県立図書館
52	二之丸御座之間ヨリ御下屋敷御座之間へノ方角墨引	
53	和歌山城杉戸絵	和歌山城整備企画課
54	紀州御殿杉戸絵	大阪城天守閣
55	紀州御殿写真(パネル)	大阪城天守閣
56	墨書土器	和歌山市教育委員会
57	紫縮緬地葵紋付松竹梅菊水模様小袖	館蔵
58	浅葱縮緬地葵紋付水辺に松竹梅模様小袖	館蔵
59	黒塗葵紋散蒔絵衣桁	館蔵
60	堀内信筆 大奥御服図原稿	和歌山県立図書館

61	女中日記	館蔵
62	御本殿大奥御化粧之間御棚下 之御小襖絵図（下絵）	
63	葵紋付左義長羽子板	館蔵
64	御城御広間御破風御紋之図	
65	葵紋鬼瓦（二の丸穴蔵出土）	和歌山市教育委員会
66	御橋廊下御差図	
	二之丸御橋廊下桁行式拾歩 一建地割	
	二之丸御橋廊下杭并行桁梁 式拾歩一墨引	
	二之丸御橋廊下東ノ妻式拾 歩一建地割	
	二之丸御橋廊下西ノ妻式拾 歩一建地割	
67	御橋廊下出土遺物(棧瓦・刻印 瓦・込栓・金属製品)	和歌山市教育委員会
68	類集略記	館蔵

#### ④西の丸

69	和歌山西丸図（複製）	和歌山城整備企画課
70	□地鎮具（西の丸庭園）	和歌山城整備企画課
71	御庭焼（清寧軒焼）内窯	和歌山市教育委員会
72	御庭焼（清寧軒焼）鬼瓦	和歌山市教育委員会
73	御庭焼（清寧軒焼）土器類（赤 染茶碗、黒染茶碗、水指、花入、 急須）	和歌山市教育委員会
74	御庭焼（清寧軒焼）線刻資料	和歌山市教育委員会
75	清寧軒焼 黒染茶碗 銘「妹嶋 夕照」	和歌山県立博物館
76	清寧軒焼 輪花文菓子鉢	館蔵
77	清寧軒焼 赤染熨絵筒茶碗	館蔵
78	倫宮（徳川則子）奉納和歌巻物	玉津島神社

#### ⑤砂の丸・南の丸

79	砂之丸南之丸御絵図	
----	-----------	--

#### ⑥和歌山城の門

参考	岡口門・追廻門・大手門の写真	
----	----------------	--

### Ⅲ. 三の丸と武家屋敷

#### (1) 参勤交代と藩士の仕事

No.	資料名称	所蔵者
83	紀伊公岡崎御通行行列図巻 松下圓次郎筆	館蔵
84	徳川斉順帰国行列図 秋香軒 筆	和歌山県立博物館
85	京橋の擬宝珠	和歌山県立博物館
86	三浦家軍列図	和歌山城整備企画課
87	伝三浦家毛槍	和歌山城整備企画課
88	三浦家金紋入り鉄箱	和歌山城整備企画課
89	七星紋入り陣笠	館蔵
90	紀伊国名所図会「納屋河岸あた りの図」	館蔵

#### (2) 武家の象徴—武器・武具—

91	犬追物弓具	大阪城天守閣
92	犬追物絵巻	館蔵
93	紀伊国名所図会「扇の芝」	館蔵
94	鷹狩用陣笠	館蔵
95	黒漆葵紋鷹の餌合子	館蔵
96	鷹場札・餌差札・鈴	館蔵
97	鷹図	館蔵
98	つるの羽	
99	黒敲塗箆筥	
100	徳川斉昭書 七言絶句	
101	大嶋流流儀槍	館蔵
102	火縄銃	
103	黒漆塗桶側二枚胴具足	館蔵

#### (3) 三の丸の家臣と暮らし

104	水野忠央筆 鶴画賛	館蔵
105	水野忠幹書状	館蔵
106	沢瀉紋軒丸瓦	和歌山市教育委員会
107	沢瀉紋滴水瓦	和歌山市教育委員会
108	安藤直次画像	和歌山県立博物館
109	安藤家陣笠	和歌山城整備企画課
110	安藤直裕筆 朱竹図	館蔵
111	安藤家鬼瓦(写真)	和歌山県教育委員会
112	下り藤紋軒丸瓦	県立紀伊風土記の丘

113	下り藤紋滴水瓦	和歌山県教育委員会
114	土塁の剥ぎ取り断面	和歌山市教育委員会
115	三浦家系図伝 完	館蔵
116	三浦家家紋瓦	和歌山市教育委員会
117	三浦家奥方火事場装束（渡辺家、木下家）	館蔵
118	渡辺家紋瓦	和歌山市教育委員会
119	長屋門の古写真・絵はがき	館蔵
参考	大村家長屋門（写真パネル）	
120	佐野家等屋敷地出土遺物	和歌山県教育委員会
121	和歌山市地籍図「二番丁」「七番丁」	館蔵

#### (4) 和歌山城から城下町へ

122	和歌山古屋敷絵図	和歌山県立図書館
123	和歌山城下屋敷大絵図 巻五	和歌山県立図書館
124	宝暦十三年和歌山城下屋敷絵図帳	和歌山県立文書館
125	和歌山城下町絵図(複) 野際蔡真画	館蔵
参考	和歌山屋敷絵図	館蔵
126	和歌山市中堀川筋架橋図	
参考	吹上水道変遷図	

◎重要文化財 ○県指定文化財 □市指定文化財

## ○秋季特別展

### 「お殿様の宝箱—南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術—」

〈開催期間〉9月15日(土)～10月21日(日)

〈開催日数〉32日

〈入館者数〉3,594人

〈開催趣旨〉

平成30年は、紀州徳川家初代・徳川頼宣が元和5年(1619)に和歌山に入国してから400年目の節目の年にあたった。また紀州徳川家15代徳川頼倫が創設した我が国で初めての私設図書館「南葵文庫」が公開されてから110年の記念の年にあたった。この展覧会では、現在では散逸してしま

った紀州徳川家に伝来した美術品や歴史資料を展示し、あわせて南葵文庫の意義とその魅力を紹介した。



〈展示構成〉

序章～プロローグ 紀州徳川家

第一章 南葵文庫

第二章 南葵楽堂と南葵音楽文庫

第三章 紀州徳川家伝来の美術

第四章 二人のお殿様—頼倫と頼貞

終章～エピローグ 紀州徳川家の残したもの

〈特別講演会〉2階講義室

9月29日(土) 14時～15時30分

「徳川吉宗から南葵文庫まで 収蔵書から見る近世日本の文化と科学」

佐藤 賢一氏 (電気通信大学 准教授)

〈講演会〉2階講義室

10月20日(土) 14時～15時30分

「あの名品この名品—実は紀州徳川家の伝来だった!」近藤 壮 (当館館長)

〈明治150年特別講座〉

10月13日(土) 14時～15時30分

「お殿様の見た 100 年前の日本—新発見の徳川  
頼倫旧蔵古写真から」近藤 壮（当館館長）

〈ミュージアムトーク〉※いずれも 14 時～15 時  
9 月 22 日(土)、10 月 8 日(月)祝

〈展覧会図録〉

展示作品・資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『お殿様の宝箱—南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術—』(A4 版、94 ページ、1,000 円)を発行した。

〈協力者〉(五十音順、敬称略)

岡山県立美術館、株式会社小松安弘興産、国立歴史民俗博物館、相国寺承天閣美術館、台東区立旧東京音楽学校奏楽堂、たばこと塩の博物館、東京大学総合図書館、東洋大学附属図書館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、ふくやま書道美術館、ふくやま美術館、星野リゾート 界 熱海、読売日本交響楽団、鹿苑寺、和歌山県立図書館、和歌山県立博物館、大河内智之、小川夏代子、菊地かの子、喜多村隆、喜多村浩、木下英一、小島志満、近藤順子、坂口佐知子、坂本亮太、下田順一、杉山雄介、Stephen Marvin、高田宗次、高橋哲也、高橋範子、瀧北敬久、瀧北守男、竹内常世、竹中康彦、龍野直樹、谷口瑞枝、出和代、出泰之、中村麻里子、中山絵里、西村保彦、袴田舞、八田真理子、日高薫、本多潤子、前田真一、前田正明、松本健二郎、水野僚子、守安収、森谷文子、安永拓世、柳孝治、藪本公三、藪本太一、湯浅淑子、和中美喜夫

〈出品目録〉

### 序章～プロローグ 紀州徳川家

1	江戸天下祭図屏風	個人蔵
---	----------	-----

### 第一章 南葵文庫

2	徳川頼倫肖像写真	個人蔵
3	東京市麻布区地誌及地図	個人蔵
4	飯倉六丁目御邸御住居向図	個人蔵
5	葵紋付風呂敷（飯倉徳川）	和歌山市立博物館
6	徳川邸御門之図	個人蔵
7	南葵文庫概要	和歌山県立図書館

8	南葵文庫蔵書目録	和歌山市立博物館
9	Catalogue of the Nanki Bunko	和歌山県立図書館
10	徳川慶喜 「南葵文庫」扁額	東京大学総合図書館
11	葵紋入椅子・机	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
12	町見術	東京大学総合図書館
13	対馬国図	東京大学総合図書館
14	喙蘭新訳地球全図	東京大学総合図書館
15	各国旗図	東京大学総合図書館
16	関氏雑著	東京大学総合図書館
17	啓蒙蟲譜図	東京大学総合図書館
18	山海異形	東京大学総合図書館
19	稲富流砲術書	東京大学総合図書館
20	立花百瓶図	東京大学総合図書館
21	南葵文庫写真帖	個人蔵
22	南葵文庫写真帖	個人蔵
23	南葵文庫写真帖	個人蔵
24	集合写真（南葵文庫前）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
25	喜多村進肖像（写真）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
26	南葵文庫内の喜多村進（写真）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
27	封筒（喜多村進宛 東京帝国大学附属図書館）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
28	南葵文庫 月俸書（喜多村進）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
29	東京帝国大学 司書給書（喜多村進）	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）

### 第二章 南葵楽堂と南葵音楽文庫

30	L. v. ヴェーダーベン 諸国の民謡集（全 23 曲）からロシア民謡《可愛い娘さんが森にゆき》の編曲 Wo0. 158-15（自筆楽譜）	読売日本交響楽団（和歌山県立博物館寄託）
31	W. A. モーツァルト 交響曲第 34 番ハ長調 K. 338（筆写楽譜）	読売日本交響楽団（和歌山県立博物館寄託）

		託)
32	G. F. ヘンデル オラトリオ《アタリア》HWV. 52 (筆写楽譜)	読売日本交響楽団 (和歌山県立博物館寄託)
33	G. ロッシーニ 書簡(直筆署名つき) アーサー・セガン宛	読売日本交響楽団 (和歌山県立博物館寄託)
34	音楽形式論(南葵音楽双書2)	和歌山県立図書館
35	南葵楽堂演奏会招待状・プログラム	個人蔵
36	ホルマンと徳川頼貞 (写真)	和歌山県立博物館 (喜多村浩氏寄贈)

### 第三章 紀州徳川家伝来の美術

37	紀州徳川家蔵品展覧目録	和歌山市立博物館
38	静和園蔵品展覧目録	個人蔵
39	静和園第二回蔵品展覧目録	個人蔵
40	牧谿 老子図 (重要文化財)	岡山県立美術館
41	伝牧谿 江天暮雪図	鹿苑寺
42	小栗宗湛 野菊鶉図	個人蔵
43	狩野元信 桃図	個人蔵
44	柳沢淇園 梅花小禽図	個人蔵
45	狩野常信 浦苔屋図	和歌山市立博物館
46	徳川吉宗 騎馬・野馬図	和歌山市立博物館
47	種姫 雪中富士図	個人蔵
48	山本養和 桐に鳳凰図	個人蔵
49	仇英 山水人物図巻	個人蔵
50	六歌仙和歌巻	個人蔵
51	山澤与平 竹取物語絵巻	個人蔵
52	古銅獅子香炉	個人蔵
53	中川浄益 腰黒薬罐	和歌山市立博物館
54	灰釉平茶碗 銘「新樹」	和歌山県立博物館
55	南紀男山焼 染付八ツ藤紋火鉢	和歌山県立博物館
56	偕楽園御庭塗 堆朱中央卓	和歌山県立博物館
57	香炉 十種香	個人蔵
58	鳳凰葵紋散蒔絵盛管用箱蓋	国立歴史民俗博物館
59	笙 銘「真具寿」	国立歴史民俗博物館

60	龍笛 銘「青柳」	国立歴史民俗博物館
61	琵琶 銘「花月」	国立歴史民俗博物館
62	徳川治宝 二大字「守学」	個人蔵
63	徳川治宝所用 翠簾	個人蔵
64	鶴蒔絵面箆筥 (附・御分物目録)	個人蔵
65	能面 (小尉・深井・般若)	個人蔵
66	桑透漆塗りたばこ盆	たばこと塩の博物館
67	黒漆塗り唐草蒔絵提げたばこ盆	たばこと塩の博物館
68	桑格子蓋付きたばこ盆	たばこと塩の博物館
69	黒漆塗り葵紋蒔絵提げたばこ盆	たばこと塩の博物館
70	紀州版群書治要	和歌山県立博物館
71	大辺路図 (大辺路・中辺路及熊野川図のうち)	和歌山県立博物館
72	心の双紙	和歌山県立博物館
73	川合春川 遊友島記	和歌山市立博物館
74	山中信古「南海包譜」 上辻木海「柑橘図絵」	和歌山市立博物館
75	玉露叢	個人蔵
76	家忠日記増補	個人蔵
77	鏡公遺事	個人蔵

### 第四章 二人のお殿様—頼倫と頼貞

78	バルコニーに座る頼貞 (写真)	和歌山県立博物館 (喜多村浩氏寄贈)
79	徳川頼倫旧蔵写真帖	和歌山市立博物館
80	徳川頼倫旧蔵写真 (美濃・飛騨・加賀旅行)	和歌山市立博物館
81	徳川頼倫旧蔵写真 (韓滿旅行)	和歌山市立博物館
82	ステレオカメラ (ヴェラスコープ)	個人蔵
83	ステレオカメラ (ステレルックス)	個人蔵
84	カメラ (コダック社)	個人蔵
85	ステレオスコープ	個人蔵
86	鳥居龍蔵・柴田常恵宛書簡	個人蔵

87	『大日本植物誌』第一巻第四集（徳川頼倫宛牧野富太郎献本）	和歌山市立博物館
88	頼貞夫妻とホルマン氏（写真）	和歌山県立博物館
89	徳川頼貞書簡 喜多村進宛	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
90	葵紋等釘隠	和歌山市立博物館
91	葵紋付風呂敷	和歌山市立博物館
92	高麗園実測全図	和歌山市立博物館
93	紀州徳川家別邸高麗園（絵はがき）	和歌山市立博物館
94	紀州徳川別邸高麗園風呂敷	和歌山市立博物館
95	紀州徳川家大磯別邸書簡連絡用袋	個人蔵

### 終章～エピローグ 紀州徳川家の残したもの

96	南葵文庫創立記念陳列目録	和歌山県立図書館
97	南葵文庫展覧会入場券	和歌山県立博物館（喜多村浩氏寄贈）
98	記念帖	個人蔵
99	史蹟名勝天然記念物	和歌山市立博物館
100	桑山玉洲 熊野奇勝図巻	個人蔵
101	桑山玉洲 桃李狸奴図	個人蔵
102	須藤久甫 御召船絵図	個人蔵
103	坂昇春 赤坂御庭図画帖 (和歌山市指定文化財)	和歌山市立博物館

## ○冬季企画展

### 「歴史を語る道具たち」

〈開催期間〉

平成 31 年 1 月 9 日（水）～3 月 3 日（日）

〈開催日数〉

48 日

〈入館者数〉

4,432 名（小学校 54 校、2,764 名）

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館では、開館以来多くの市民の方々から寄贈された農具・生活用具等の民具を多

数所蔵している。これらの資料の一部は常設展示室に展示し、展観事業に供しているが、その他の多くの資料を有効に活用するため、企画展「歴史を語る道具たち」を開催し、先人の生活の知恵を学ぶ機会にしたいと考えている。

なお、本展覧会は小学校 3・4 年生社会科の学習指導要領に対応するものである。小学生団体専用の教育プログラム（60 分コース、90 分コース）を用意し、学芸員が展示案内をしている。また米づくりの映画を上映して（90 分コースのみ）、行灯に点灯し明るさの体験や蓄音機でレコードを聴くことなど、昔の生活の体験もしてもらっている。

〈展示構成と主な展示資料〉

- 1 暮らしの道具  
扇風機、裁縫箱、たらい、和傘など
- 2 遊びと勉強  
教科書、通信簿、ベーゴマ、羽子板など
- 3 あかりの道具  
行灯、提灯、蠟燭箱、ランプなど
- 4 食事の道具  
羽釜、蒸籠、提重、箱膳、氷冷蔵庫など
- 5 はかる道具  
竿ばかり、斗枰、鯨尺、看貫ばかりなど
- 6 暖まる道具  
箱火鉢、こたつ、行火、湯たんぽなど
- 7 ちょっと昔の道具  
冷蔵庫、洗濯機、掃除機、白黒テレビなど
- 8 米づくりの農具  
鍬、馬鍬、千歯こき、唐臼、唐箕など

総展示点数 約 160 点

〈ワークシート〉

本展覧会では、小学生 3、4 年生の団体見学が多い。そのため、展示をより深く理解してもらえるようにワークシート（オールカラー・全 8 ページ）を作成し、無料配布している。シートには民具や農具の写真を掲載しており、その資料を展示物から探し出し、名称を書くようになっている。

## ○ホール展示

### 1 描かれ写された和歌山大空襲

〈開催期間〉7月7日(土)～8月19日(日)

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館では3年前より和歌山大空襲の体験をされた方々に体験談を音源で収録する活動をおこなっている。本展ではおもに和歌山大空襲の前と後の写真を展示し、空襲によって破壊された市街地の様子を展示した。

### 2 津田出と明治初期の和歌山

〈開催期間〉11月6日(火)～12月2日(日)

〈開催趣旨〉

平成30年は、明治元年から150年の年にあたる。和歌山では明治2年から本格的な藩政改革が行われ、兵制改革は明治政府の徴兵令の先駆けになったと評価されている。この改革を主導したのが和歌山出身の津田出で、のちに西郷隆盛や大久保利通に高く評価されている。このホール展示では、その評価の高さに比して、あまり知られていない津田出と明治初期の和歌山について紹介した。

〈展示点数〉30件

### 3 平成29年度寄贈資料展

〈開催期間〉12月4日(火)～12月16日(日)

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館は、昭和60年(1985)の開館以前からたくさんの資料を寄贈されている。これらの資料は、学芸員が資料を調査し、当館で活用できると判断し収集したものである。この展示では平成29年度の1年間に寄贈された資料の一部を展示した。平成29度は、7名から35件(39点)を寄贈された。

〈展示点数〉10件

### 4 日本遺産『絶景の宝庫 和歌の浦』パネル展示

〈開催期間〉3月5日(火)～3月24日(日)

〈開催趣旨〉

日本遺産に認定された『絶景の宝庫 和歌の浦』を紹介するパネルとともに、地域を盛り上げようと、雑賀小学校6年生が『絶景の宝庫 和歌の浦』のPRの研究に取り組んできた成果を紹介した。また組み木作家・吉田富彰氏による和歌祭の木工細工作品なども展示し、市民と一体となった展示を作り上げ、博物館に親しんでもらう展示とした。

〈展示点数〉パネル13点、研究成果資料15点、和歌浦絵画作品37点、組木作品1点

## ○コーナー展示

- ・3月27日～6月3日「和歌祭」・「養翠園」
- ・6月5日～8月5日  
「和歌山城下の女性たち」・「紀三井寺」
- ・8月7日～9月30日  
「江戸時代の菓子木型」・  
「ここはどこ？和歌の浦周辺の古写真」
- ・10月2日～1月6日  
「紀州藩士小笠原庄大夫家と小笠原誉至夫一生  
誕生150年一」・「和歌海苔の道具」
- ・1月8日～3月31日  
「絵画にみる米づくり」・「和歌の浦の絵画」

## 2. 教育普及事業

### ○史跡散歩

「和歌山城を歩く」

- ・日時 11月10日(土)  
午後1時00分～4時頃まで
- ・経路 ①京橋－②三の丸－③一の橋－④  
岡口門－⑤長屋門－⑥本丸－⑦天守閣  
－⑧追廻門－⑨二の丸－⑩御橋廊下－  
⑪西の丸庭園－⑫歴史館－⑬西の丸(解散)  
※徒歩距離約3.5km
- ・参加者 18名

- ・参加費 無料

当館は、和歌山城下町にある歴史博物館で、和歌山市内や城下町の史跡や文化財をたずねる、史跡散歩を毎年開催している。

今年は和歌山城天守閣再建 60 周年の年にあたり、それを記念して、「和歌山城を歩く」を企画した。史跡和歌山城の範囲だけでなく、市役所など官公署が建つ三の丸も学芸員が解説しながら、秋の和歌山城をめぐる。

## ○体験学習

### 1 「火縄銃の模型をつくろう」

今回の体験学習は、歴史的に紀州と深いかわりを持つ火縄銃について、小中学生に理解を深めてもらうため、歴史民俗学習の一環として実施した。火縄銃の持つ歴史、民俗的意義（火縄銃の生活道具としての側面）を理解してもらった。火縄銃の構造について、特別な知識などが必要なため、指導を和歌山古式銃研究会代表の出来可也氏に依頼した。

- ・日 時 平成 30 年 8 月 5 日(日) 午後 1 時から 4 時ごろ
- ・場 所 2 階体験学習室
- ・参加者 18 名 (小学 4 年生～中学 3 年生)
- ・参加費 1,000 円

### 2 「休館日の博物館を探検しよう」

- ・日 時 平成 30 年 8 月 6 日 (月)  
14 時～15 時 30 分
- ・場 所 和歌山市立博物館内
- ・参加者 20 名

平成 25 年度から、夏休み中の休館日を利用して、子ども向けに博物館のバックヤードや展示替えの作業をみていただく行事として開催している。普段はケース越しに見る資料を間近で見られる企画として開催した。

### 3 「むかしの遊びを体験しよう」

- ・日 時 平成 30 年 7 月 28 日 (土)  
平成 31 年 1 月 12 日 (土)  
2 月 23 日 (土)

※いずれも午後 1 時 30 分～4 時

- ・場 所 1 階 玄関ホール
- ・参加者 7 月 28 日 5 人  
1 月 12 日 27 人  
2 月 23 日 75 人

- ・参加費 無料

メンコや竹とんぼ、おはじき、折り紙などをおおして、戦後昭和時代に流行したこどもの遊びを体験してもらった。

### 4 「レコードで音楽を聴こう」

- ・日 時 平成 31 年 2 月 16 日 (土)  
午後 1 時 30 分～4 時

- ・場 所 1 階 玄関ホール
- ・参加者 26 人
- ・参加費 無料

鳩、月の砂漠、かわいい魚屋さんなど明治期から昭和期にかけての SP レコードを蓄音機を使って鑑賞した。参加者にはデジタルではないどこか懐かしい音を聴いていただいた。

### 5 「菓子木型で型ぬき体験しよう」

- ・日 時 平成 31 年 1 月 20 日 (日)  
2 月 9 日 (土)  
午後 1 時 30 分～4 時

- ・場 所 1 階 玄関ホール
- ・参加者 1 月 20 日 24 人  
2 月 9 日 41 人
- ・参加費 無料

平成 29 年度夏季特別展「美尽し善極める一駿河屋の菓子木型」の期間中に粘土を使って「木型で型ぬき体験」を実施したところ好評だったので、体験学習として実施した。

## ○講座等

### 1 古文書講座「加太の古文書を読む」

- ・日時 平成30年5月から平成31年3月までの第二日曜日(ただし8月はお盆休み)  
午後2時～3時30分
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 54人

当館に寄託されている向井家文書等をテキストにして、ひらがなのくずし字の解読方法をレクチャーした。くずし字の読み方だけでなく、加太の歴史などについてもレクチャーした。

### 2 映画上映会「和歌山大空襲」と「空襲体験絵巻」

- ・日時 7月14日(土) 14時～15時
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 58人

昭和20年7月9日深夜から翌未明にかけての和歌山大空襲のドキュメンタリー映画と和歌山大空襲を体験した人の描いた絵巻物を上映した。本来、7月7日(土)に事業を予定していたが台風のため順延した。7日当日の来館者は34人であった。

### 3 歴史講座「紀州の武器・武具」

今回は「紀州の武器・武具」とのテーマを設定し、本博物館に所蔵する主な兜や槍、鉄砲を3回に分けて紹介した。これらの武器、武具には紀州特有の特徴があり、それを通じて和歌山の歴史を考えてみた。

- ・日時、参加者

平成31年3月2日(土) 雑賀の兜	13人
3月9日(土) 大嶋流の槍	11人
3月16日(土) 紀州の鉄砲	22人

いずれも午後2時から同3時30分

- ・場所 2階体験学習室
- ・参加費 無料(入館料は必要)

### 4 地域で学ぼう「博物館おでかけ歴史講座」

平成30年12月から新たな試みとして、一般の団体の方を対象とした「博物館おでかけ歴史講座」を開始した。この講座は、学芸員が市内の各地域に直接出向き、その地域の歴史や文化、魅力などを紹介するものである。

平成31年2月28日(木) 楠見地区	20人
3月28日(木) 高松地区	32人

## ○回想法プログラム

「回想法」とは、1960年代にアメリカの精神科医によって提唱された非薬物療法の一つで、高齢者が昔の懐かしい記憶や楽しかった思い出を振り返ることによって、脳を活性化させる心理・社会的アプローチである。

本館では、冬季企画展「歴史を語る道具たち」の会期中、体験学習室に昭和初期から同40年代の生活道具や玩具などを展示した。電気こたつ、ダイヤル式電話、氷冷蔵庫、ちゃぶ台などで、年配の人であれば実際に使用したことのある資料ばかりである。このスペースにおいては、実際に高齢者が資料に触れることができ、高齢者が過去を思い出すことによって、介護予防に役立てていただくよう、本プログラムを実施した。

(実施期間)

平成30年1月9日(水)～3月3日(日)

(利用者数)

52名(3施設:利用者25名・介護者12名)

## ○博物館実習

8月21日(火)～25日(土)

大学における博物館学芸員資格取得課程の実習館として毎年実施している。平成30年度は8月21日から同25日での5日間実施し、和歌山大学生3名、同志社女子大学生1名、金沢学院大学生1名が参加した。実習内容は以下のとおりである。

- 8月21日(火) 館内施設・展覧会案内  
武器・武具の取り扱い方
- 8月22日(水) 発掘現場の見学  
考古資料の扱い方  
古典籍の整理
- 8月23日(木) 地図の扱い方
- 8月24日(金) 掛軸・巻物の扱い方  
資料(古文書)の写真撮影
- 8月25日(土) 近代資料の扱い方  
実習レポート作成

#### 【博物館実習受け入れに関する内規】

1 本館において博物館実習の受講を希望するものは、次のすべてをみたすものに限る。

(1) 受講を希望するものの所属する大学から依頼のあったものであること。

(2) 和歌山県内出身者または和歌山県内の大学に在籍する学生であること。

(3) 専攻分野が人文科学系であること。

(4) 実習を受講する前年までに、博物館施行規則第1条に掲げる生涯学習概論・博物館概論・博物館経営論・博物館資料論・博物館資料保存論・博物館展示論・博物館教育論・博物館情報・メディア論に相当する課目を履修済みであり、かつこれ以外の科目をすべて当該年に取得できる見込みのあること。

2 実習生の受け入れ定員は20名以内とする。

3 館長が特に認めた場合は、この限りではない。

内規 平成11年4月1日

改正 平成24年4月1日

## ○ミュージアムボランティア

平成20年度から和歌山大学教育学部からミュージアムボランティアを受け入れている。本年度は和歌山大学生2名を受け入れた。本館担当学芸員と学生が調整を付け各種作業を行う。強制ではな

く、双方の都合があわなければ実施できないことになる。そのため、比較的軽い作業を補助していただくことが多い。活動内容は主に博物館資料の整理などである。

## ○職場体験

平成23年度から中学生の職場体験を受け入れている。中学生としての勤労観、職業観を育成させるため、様々な職場での体験が求められている。本年度は西脇中学校2年生2名(5月29日～30日)、紀之川中学校2年生2名(9月11日～13日)、西和中学校2年生3名(9月19日～21日)を受け入れた。体験内容は受付業務、資料整理、展示ケース等の清掃、演示具の整理などである。

## ○ウェブサイト

平成10年度に本館ウェブサイトのを和歌山市ウェブサイト内に開設して以来、コンテンツを改定・補充してきた。その後、平成16年7月から、館として新たに独自ドメインを取得、オリジナルウェブサイトを作成、運営を行うこととした。平成22年度より、ドメイン名の変更とともに、リニューアルを行ない、さらに平成30年度末には、大幅なリニューアルを行なった。アクセス数も着実に増えている。また、平成26年度から新たな試みとして、和歌山市立博物館公式Twitter(ツイッター)を開設した。定期的に展覧会やイベントの情報を発信しており、フォロワー数も順調に増加している。

和歌山市立博物館ウェブサイト

(平成31年4月現在)

<http://www.wakayama-city-museum.jp/>

・和歌山市立博物館公式Twitter(ツイッター)

(平成31年4月現在)

[https://twitter.com/w\\_city\\_hakubuts](https://twitter.com/w_city_hakubuts)

## 3. 調査研究事業

### ○職員の執筆文献

近藤 壮

〈図録〉

2018. 9. 15『お殿様の宝箱—南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術—』、和歌山市立博物館特別展図録〈報告書〉

2019. 3. 25「夏季講座 座談会記録 東洋絵画研究のいまとこれから」『古文化研究』18号、黒川古文化研究所

山下 奈津子

〈報告書〉

2019. 3. 28『史跡和歌山城第31～38次発掘調査報告書』（第2章第2節）、和歌山市和歌山城整備企画課

〈資料紹介〉

2018. 12. 18「紀州藩家老家の食卓（1）」、『研究紀要』33号、和歌山市立博物館

2019. 3. 31「史料翻刻『類集略記』補—上々様・御祝儀編（八）（九）」、『和歌山市史研究』47号、和歌山市立博物館

2019. 3. 31「史料翻刻『類集略記』補—御目付中編（一）（二）（三）」、『和歌山市史研究』47号、和歌山市立博物館

佐藤 顕

〈論文〉

2018. 12. 18「紀州藩における修験者の他領宗教者取締」、『研究紀要』33号、和歌山市立博物館

小橋 勇介

〈論文〉

2018. 12. 18「紀州藩の根来者の存在形態について」、『研究紀要』33号、和歌山市立博物館

〈資料紹介〉

2019. 03. 31「加太・向井家文書所収の葛城修験関係史料（3）」、『和歌山市史研究』47号、和歌山市立博物館

太田 宏一

〈コラム〉

2019. 3. 15「戦国期の雑賀と鉄砲 雑賀の地とは」和歌山県保険医新聞

額田 雅裕

〈著書〉

2018. 5. 19『城下町の風景 増補精彩版 付加太・友ヶ島の風景—カラーでよむ紀伊国名所図会』、ニュース和歌山株式会社

〈図録〉

2018. 7. 14『和歌山城再発見!』、和歌山市立博物館特別展図録

高橋 克伸

〈論文〉

2018. 12. 18「華岡青洲の門人・千葉理安の南紀遊学関係史料について（後編）—『青洲紀聞 全』を中心に—」（共著）、『研究紀要』33号、和歌山市立博物館

2019. 3. 31「地方都市空襲—和歌山大空襲—」（共著）、『空襲で消えた「戦国」の城と財宝』、平凡社発行・碧水社編集制作

### ○職員の教育普及活動

近藤 壮

2018. 9. 7 講演「近世紀州画壇研究の現在」、夏季講座「東洋絵画研究のいまとこれから」、黒川古文化研究所・西宮市教育委員会共催（於：西宮市プレラホール）

2018. 10. 12 講座「お殿様の見た100年前の日本—新発見の徳川頼倫旧蔵古写真から—」和歌山市立博物館特別展 明治150年特別講座（於：和

- 歌山市立博物館)  
2018. 10. 13 シンポジウム「近代の文化遺産を守る—寂光院とその襖絵を中心に—」和歌山県立近代美術館（於：和歌山県立近代美術館）  
2018. 10. 20 講演「あの名品この名品—実は紀州徳川家の伝来だった！」、和歌山市立博物館特別展講演会（於：和歌山市立博物館）  
2018. 11. 2 講演「川合小梅の作品と画業」、小梅日記を楽しむ会（於：妙宣寺）
- 山下 奈津子**  
2018. 6. 28 研修「和歌山県の災害（瓦版）の読み解き—くずし字の見方・読み方について—」、和歌山地方気象台  
2018. 8. 18 講座「美尽し善極める～駿河屋の菓子木型と和歌山」、岩出市成人講座（8月講座、於：岩出市総合保健福祉センター）  
2018. 11. 11 講演「資料にみる晶子の実家・駿河屋」、さかい利品の杜（大阪府堺市）

#### **佐藤 顕**

2018. 12. 2 研究発表「安永期における上級商家の信仰・寺社参詣—沼野六兵衛を事例に—」和歌山地方史研究会 12月例会、（於：和歌山市立博物館）  
2018. 12. 4 講義「学芸員の仕事」和歌山大学 21世紀ミュージアム学、和歌山大学  
2019. 3. 30 研究発表「紀州藩領寺社の宗教活動と参詣者—一道成寺・淡嶋神社を中心に—」日本史研究会 3月例会、（於：京都大学吉田キャンパス）

#### **小橋 勇介**

2018. 10. 14 研究発表「『地下文書』を伝える家に関する—考察—向井家文書と林家文書を事例に—」、第9回地下文書研究会（於：京都市機関紙会館）  
2018. 12. 13 講演「玉津島神社の歴史」、首都圏メディア交流会（主催：和歌山市東京事務所）

2019. 2. 6 講演「加太に根ざした修験道」、首都圏メディア交流会（主催：和歌山市東京事務所）  
2019. 3. 9 研究発表「向井家文書からみた葛城修験」、シンポジウム「葛城修験の信仰・儀礼・言説」（主催：和歌山大学地域活性化総合センター）

#### **太田 宏一**

2018. 9. 18 現地学習「むかしの和歌浦のけしき」雑賀小学校 6年  
2018. 11. 8 出前講座「鈴木孫一を雑賀衆」楠見西小学校  
2019. 3. 28 おでかけ歴史講座「高松地区の歴史—戦国時代を中心に—」（於：高松連絡所）

#### **額田 雅裕**

2018. 4. 21 案内「根来寺と山内を歩く」和歌山歴史地理研究会 第13回見学会  
2018. 8. 5 案内「和歌山市と城下町を歩く—城下町北部—」、和歌山県立博物館 現地見学会  
2018. 8. 9 講義「和歌浦の海の歴史や地形の変化について学ぼう！」、海と日本プロジェクト in 和歌山県（於：和歌浦アートキューブ）  
2018. 8. 18 講演「和歌山城と城下町の風景」、和歌山市立博物館夏季特別展講演会（於：和歌山市立博物館）  
2018. 12. 1 案内「和歌山城の探索」和歌山歴史地理研究会 第14回見学会  
2019. 1. 27 案内「歩いて感じる！和歌山城三の丸と吹上砂丘」、紀伊国考古学研究会 第157回例会  
2019. 2. 28 おでかけ歴史講座「楠見地区の歴史について—外来文化の受容地域—」（於：楠見連絡所）  
2019. 3. 16 案内「城下町の風景を訪ねて」、紀州徳川 400年和歌山城下町ウォーク（主催：南海電気鉄道株式会社）

#### **高橋 克伸**

2018. 10. 18 講演「新南地区今昔物語」、和歌山市  
新南地区公民館

2018. 10. 26 講演「江戸時代のわかやま自慢—徳川  
吉宗と華岡青洲—」、第63回和歌山市公民館振  
興大会・職員研修会

2019. 1. 26 案内「和歌山城とその城下町—和歌山  
城をめぐる—」、紀州の和菓子と文化を考える  
会

2019. 2. 23 講演「和歌山大空襲—語り継ぐ記憶  
伝えていく思い—」、和歌山県歴史教育者協議  
会和歌山県大会

## 4. 市史資料管理事業

平成4年度末に事業を完了した和歌山市史編纂事  
業の残務を引き継いだ事業である。主な業務は、  
『和歌山市史』残部の販売、他都市交換市史の受  
入、市史編纂過程で蒐集した資料の保存と整理、  
保存資料の活用方法の調査研究、『和歌山市史研究』  
の発行である。

平成30年度は、3本の史料翻刻を『和歌山市史  
研究』47号に掲載した。

## Ⅱ 収蔵資料概要

### 1. 購入資料概要

本館では計画的に和歌山の歴史、文化に関する  
資料を購入している。本年度は郷土史家で、多く  
の美術、歴史資料を収集した故田中敬忠氏の旧蔵  
資料を14点購入した。いずれも展示や研究に活用  
して行く予定である。

田中敬忠氏旧蔵資料 14件14点

#### ●美術工芸

- ・三浦家茶屋夜雨荘掲額 1面
- ・李梅溪・祇園南海 扁額「寿山」「龍」 1面
- ・祇園南海 尺八 銘白玉 1管
- ・嶋沢素堂 竝笛記 1巻
- ・岩瀬広隆 年中行事図 1幅
- ・徳川治宝 牡丹之図 1幅
- ・安藤直次肖像 1幅
- ・祇園南海 山水図（月夜） 1幅
- ・検見図巻 1巻
- ・松尾塊亭 芭蕉翁之図 1幅
- ・伊藤蘭岨 鷹之図 1幅
- ・桑山玉洲 雪景山水図 1幅

#### ●歴史

- ・水野忠央 書状 堀帯刀宛（付姓名録） 1通
- ・徳川頼宣 消息 1幅

### 2. 受贈資料概要

本年度は歴史資料7件、その他4件を寄贈いた  
だいた。資料を大切に保存し、今後の展示や研究  
に活用したい。

#### ●歴史

- 旧市役所写真 1枚 西峰 康治
- 津田出関係資料 41件92点 大西 勝
- 自由齋流砲術書 一式 小泉 邦彦

大坂夏の陣御陣図 1 鋪 小泉 邦彦  
 由緒書 1 点 小泉 邦彦  
 系図 1 点 小泉 邦彦  
 大日本帝国陸地測量部発行地形図等  
 410 点 酒井 俊和

●その他

ミニカー 181 台 西本富美子  
 デル・プラド カーコレクション解説本  
 6 冊 西本富美子  
 国産名車コレクション解説本  
 8 冊 西本富美子  
 フィギュア 一括 西本富美子

### 3. 受贈図書概要

平成30年度に寄贈された図書は以下のとおりである。

北海道博物館一括資料目録 第1集 弥永コレクション 北海道博物館  
 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武二郎一見る、集める、伝える 北海道博物館  
 小樽市総合博物館紀要 31 小樽市総合博物館  
 キムンカムイとアイヌー春夏秋冬 (財)アイヌ民族文化財団  
 ニッポンの写実 そっくりの魔力 北海道新聞社  
 根室市歴史と自然の資料館紀要 30 根室市歴史と自然の資料館  
 仙台市博物館年報 45 仙台市博物館  
 仙台市博物館調査研究報告 38 仙台市博物館  
 東北歴史博物館平成 29 年度年報 東北歴史博物館  
 東北学院大学 東北文化研究所紀要 50 東北学院大学東北文化研究所  
 秋田県立博物館年報 秋田県立博物館  
 米沢市上杉博物館年報 30 米沢市上杉博物館  
 特別展 直江兼続 兼続と新時代を切り開いた人たち 米沢市上杉博物館  
 特別展 戊辰戦争と米沢 米沢市上杉博物館  
 新潟県立歴史博物館 福島県立博物館 仙台市博物館 共同企画展覧会 戊辰戦争一五〇年 福島市の文化財 福島市文化財調査報告書 52 福島市教育委員会

福島市史資料叢書 100、101 福島市教育委員会  
 福島大学考古学研究报告 11 団子山古墳 5 福島県須賀川市団子山古墳第 7 次調査報告書 塚前古墳 1 福島県いわき市塚前古墳測量調査報告書  
 土浦市立博物館年報 30 土浦市立博物館  
 土浦市立博物館紀要 28 土浦市立博物館  
 オープニング展「茨城県近代美術館 移動美術館」—茨城ゆかりの洋画家たち— 土浦市民ギャラリー  
 企画展 とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業 とちぎの技・匠 栃木県立博物館 (教育委員会)  
 栃木県立博物館研究紀要 人文 35 栃木県立博物館 (教育委員会)  
 企画展 藤原秀郷—源平と並ぶ名門武士団の成立— 栃木県立博物館 (教育委員会)  
 栃木県立文書館研究紀要 22 栃木県立文書館  
 織田信長と上野国 群馬県立歴史博物館  
 企画展 すごいぞ!江戸の科学—時代を動かした地図・暦・和算の力— 群馬県立歴史博物館  
 開館 30 周年記念展 企画展 古墳時代群馬の渡来文化—観音塚古墳の被葬者像を探る— 高崎市観音塚考古資料館  
 行田市郷土博物館研究報告 9 行田市郷土博物館  
 テーマ展「酒とくらす」 行田市郷土博物館  
 開館 30 周年記念企画展 阿部正武と徳川綱吉 行田市郷土博物館  
 企画展 鷹狩と忍城 行田市郷土博物館  
 和楽備神社合祀百周年記念誌 和楽備神社氏子総代会  
 歴博 207 号~211 号 国立歴史民俗博物館  
 企画展示 世界の眼でみる古墳文化 国立歴史民俗博物館  
 平成 30(2018)年度 国立歴史民俗博物館 要覧 国立歴史民俗博物館  
 企画展示 ニッポンおみやげ博物館誌 国立歴史民俗博物館  
 企画展示 日本の中世文書—機能と形と国際比較— 国立歴史民俗博物館  
 研究紀要 24・千葉いまむかし No. 31 千葉市立郷土博物館  
 収蔵文書目録第三十二集 諸家文書目録 12 千葉県文書館  
 千葉県の文書館 24 千葉県文書館  
 伊能忠敬記念館年報 19 伊能忠敬記念館  
 (公財)通信文化協会博物館部 (郵政博物館資料センター)  
 郵政博物館研究紀要 9 野田市郷土博物館 市民会館

年報・紀要 10	市民会館		会
野田と大杉様～地域に息づく信仰～	野田市郷土博物館	お茶の水女子大学博物館実習報告 34	お茶の水女子大学
書陵部紀要 69	宮内庁書陵部	府中市郷土の森博物館紀要 31	府中市郷土の森博物館
書陵部紀要 69 [陵墓篇]	宮内庁書陵部	ブックレット 20 新版武蔵府中くらやみ祭—国府祭から都市祭礼へ—	府中市郷土の森博物館
東京都江戸東京博物館 調査報告書 33 浅草地域のあゆみⅡ—近代化と盛り場の変容—	東京都江戸東京博物館	外交史料館報 31	外務省外交史料館
東京都江戸東京博物館紀要 8	東京都江戸東京博物館	史観 178	早稲田大学史学会
都市・生活 18 世紀の東京と北京	東京都江戸東京博物館	古代 141、142	早稲田大学考古学会
常設展覧総合図録 (中国語版)	東京都江戸東京博物館	美術史研究 56	早稲田大学美術史学会
特別展 作品の中の大田区—文士・画家の描いた風景—	大田区立郷土博物館	東京家政学院生活文化博物館年報 25・26・27 合併号	東京家政学院生活文化博物館
大田区立郷土博物館紀要 22	大田区立郷土博物館	孤峰—江戸千家の茶道 第 40 巻第 5 号～第 41 巻第 3 号	江戸千家
特別展「土器から見た大田区の弥生時代—久ヶ原遺跡発見、90 年—」図録	大田区立郷土博物館	東京国立博物館図版目録 経塚遺物篇 (西日本) 新訂	東京国立博物館
品川歴史館紀要 33	品川区立品川歴史館	昭和館報 19	昭和館
明治維新—そのとき品川は—	品川区立品川歴史館	昭和のくらし研究 16	昭和館
特別展 江戸・明治の肖像画—世田谷ゆかりの人物を中心に	世田谷区立郷土資料館	国立能楽堂開場 35 周年記念企画展 囃子方と楽器	日本芸術文化振興会 (国立劇場)
御用留五 世田谷叢書十二	世田谷区立郷土資料館	日本美術年鑑 平成 28 年版	東京文化財研究所文化財情報資料部
生活と文化 [豊島区立郷土資料館研究紀要第 27 号]	世田谷区立郷土資料館	美術研究 425、426	東京文化財研究所
豊島区立鈴木信太郎記念館常設展示案内	豊島区立郷土資料館	日野市立新選組のふるさと歴史館叢書 16 没後一五〇年 新選組井上源三郎—八王子千人同心と新選組の幕末維新—	日野市
生活と文化 [豊島区立郷土資料館研究紀要 28]	豊島区立鈴木信太郎記念館	「國華清話会」会報 31、32	國華社
鏡の前の暮らし—身だしなみの道具—	豊島区立郷土資料館	企画展 春を寿ぐ—徳川将軍家のみやび—	(財)徳川記念財団
豊島区立郷土資料館 常設展示案内	豊島区立郷土資料館	浅草寺什宝目録 1 彫刻編	浅草寺什宝研究会
出光美術館研究紀要 23	豊島区立郷土資料館	根津美術館紀要 此君 9	根津美術館
出光美術館館報 183	豊島区立郷土資料館	特別展 光琳と乾山 芸術家兄弟・響き合う美意識	根津美術館
特別展 金剛宗家の能面と能装束	出光美術館	特別展 新・桃山の茶陶	根津美術館
特別展「仏像の姿」～微笑む・飾る・踊る～	出光美術館	NHK 大河ドラマ特別展 西郷どん	NHK プロモーション
國學院大學大学院史学専攻大学院会機関誌 史学研究集録 42	三井記念美術館	サントリー美術館プレミアム・セレクション 新たなる美を求めて	サントリー美術館
國學院大學図書館所蔵那智参詣曼荼羅卷子本 光学的調査報告書	三井記念美術館	サントリー美術館 研究紀要 4	サントリー美術館
國學院大學博物館研究報告 35	國學院大學大学院史学専攻大学院会	和菓子 25	(株)虎屋 虎屋文庫
國學院大學博物館學紀要 43	國學院大學文学部歴史地理学教室	日本貨幣カタログ 2018 年版	日本貨幣商協同組合
実践女子大学 美術美術史學 33	國學院大學博物館学研究室	公益社団法人 日本文化財保護協会紀要 2	公益社団法人 日本文化財保護協会
	実践美学美術史学	【大人の学び直し】日本史講座テキスト 6	U-CAN
		熊楠と猫	株式会社共和国

デーモン閣下監修！みんなの相撲大全二 すばらしい相撲の世界	株式会社教育画劇	春季特別展「天野喜孝展 天馬」	(馬事文化財団) (財)馬の博物館 (馬事文化財団)
日本歴史 840	日本歴史学会	民具マンスリー第 50 巻 10 号～第 51 巻 12 号	神奈川県立歴史博物館
歴史人 6 NO. 90	KK ベストセラーズ	歴史と民俗 34 神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館
ビジュアル百科 日本史 重要人物 250 人	株式会社西東社	歴史と民俗 34 神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館
図説 日本の城郭シリーズ⑧ 和歌山の近世城郭と台場	戎光祥出版株式会社	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館
シリーズ「遺跡を学ぶ」126 紀国造家の実像をさぐる 岩橋千塚古墳群	株式会社新泉社	歴史をひもとく 藤沢の資料 3 片瀬地区	藤沢市教育委員会・藤沢市文書館
歴史 REAL 徳川一族 500 年史	株式会社 洋泉社	藤沢市史料集四十二	藤沢市文書館
日本歴史 845	日本歴史学会	平成 28 年度 女子美術大学美術館年報 15	女子美術大学美術館
ビジュアル版 江戸の《新》常識	SB クリエイティブ株式会社	鎌倉歴史文化交流館ハンドブック	鎌倉歴史文化交流館
織田信長の家臣団一派閥と人間関係	中央公論新社	横浜中華街万華鏡 豆彩—TOUSAI 一年代記 1997～2008	『豆彩』編集部
歴史 REAL 明智光秀	株式会社 洋泉社	新潟開港 150 周年記念/新潟市歴史博物館・西安博物院友好提携	新潟市歴史博物館
図説 日本の城郭シリーズ⑩ 戦国和歌山の群雄と城館	戎光祥出版株式会社	10 周年記念 玉と鏡の世界—西安・新潟友好交流特別展	新潟市歴史博物館
日本経済史	株式会社 有斐閣	キラリ★新潟〈美〉の刀剣展図録	新潟市歴史博物館
江戸期の広域出版流通	株式会社 新典社	新潟市歴史博物館研究紀要 14	新潟市歴史博物館
根来寺を解く 密教文化伝承の実像	朝日新聞出版	図説 新潟開港一五〇年史	新潟市(文化スポーツ部歴史文化課)
陸奥宗光 中公新書 2509	中央公論新社	氷見市立博物館年報 36	氷見市立博物館
【新訂増補】戦災等による焼失文化財 2017 —昭和・平成の文化財過去帳	戎光祥出版株式会社	特別展 大境洞窟・朝日貝塚 100 年	氷見市立博物館
水損史料を救う —風水害からの歴史資料保全—	有限会社岩田書院	大伴家持生誕 1300 年記念 特別展 万葉集に詠まれた「ひみ」	氷見市立博物館
横浜市歴史博物館資料目録 26	横浜市歴史博物館	富山県[立山博物館]研究紀要 24	富山県 立山博物館
横浜市歴史博物館調査研究報告 14 横浜市内出土資料報告(弥生時代中期・宮ノ台式期)	横浜市歴史博物館	法隆寺 再現 釈迦三尊像展—飛鳥が告げる未来—	高岡市
横浜市歴史博物館 紀要 22	横浜市歴史博物館	平成 30 年度特別展 旧石器時代とはどのような時代だったのか!	富山県埋蔵文化財センター
戊辰の横浜	横浜市歴史博物館	春季特別展 北前船と日本海海運	石川県立歴史博物館
寄木細工 Art&History—金子皓彦コレクションを中心に—	横浜市歴史博物館	【石川展別冊】開祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回 二祖峨山韶碩禅師六五〇回 遠忌記念 禅の心と	石川県立歴史博物館
小田原市郷土文化研究報告 54	小田原市郷土文化館	かたち—總持寺の至宝—	石川県立歴史博物館
川崎市市民ミュージアム紀要 30	川崎市市民ミュージアム	開祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回 二祖峨山韶碩禅師六五〇回 遠忌記念 禅の心と	石川県立歴史博物館
春季特別展 四之宮前鳥神社—その神輿と地域の信仰—	平塚市博物館	かたち—總持寺の至宝—	石川県立歴史博物館
平塚市博物館年報 41	平塚市博物館	石川県立歴史博物館紀要 27	石川県立歴史博物館
平塚市博物館研究報告 自然と文化 41	平塚市博物館	石川県立歴史博物館年報 19	石川県立歴史博物館
秋期特別展 ひらつかの村絵図を読む	平塚市博物館	石川の歴史遺産セミナー講演録 第 27 回～28 回	石川県立歴史博物館
馬の博物館研究紀要 21	(財)馬の博物館		石川県立歴史博物館
猪熊弦一郎展 馬と女性たち	(財)馬の博物館		

石川県立歴史博物館展示案内	石川県立歴史博物館		育委員会)
加賀藩研究ネットワーク会誌「加賀藩研究」八	加賀藩研究ネットワーク	特別展 海たび 尾張・知多の海とひとびと	名古屋市博物館
館報(平成29年度)	福井県立若狭歴史博物館	挑む浮世絵 国芳から芳年へ	名古屋市博物館
幕末明治福井 150 年博事業・特別展 うきたつ人々～幕末若狭の祭礼・風俗・世相～	福井県立若狭歴史博物館	安城市歴史博物館研究紀要 22	安城市歴史博物館
県指定史跡甲府城跡 甲府城跡総合調査検討委員会報告書	山梨県教育委員会	企画展「安城の文化財—モノ語り名品展V—」	安城市歴史博物館
長野市立博物館紀要 19 (人文系)	長野市立博物館	特別展 安城ゆかりの大名 家康を支えた三河石川一族	安城市歴史博物館
川中島合戦 芝居になる	長野市立博物館	特別展 幕府崩壊—幕末維新を生きた地方の証言者たち—	安城市歴史博物館
川中島の戦いと善光寺	長野市立博物館	年報 第27号 平成29年度	安城市教育委員会
民俗文化財報告書 2(付収蔵資料目録5)上野家資料	長野市立博物館	企画展「江戸の愉しみ—安城の相撲・芝居—」	安城市歴史博物館
松代31	長野市教育委員会文化財課	とよはしの旗本たち	豊橋市二川宿本陣資料館
こども松代みて歩き ～佐久間象山～	松代文化施設等管理事務所	春季特別展 濃尾地震	一宮市尾西歴史民俗資料館
松代藩の戊辰戦争	長野市教育委員会・真田宝物館	黒川文化研究所紀要 古文化研究 17	(財)黒川古文化研究所
市誌研究ながの 25、26	長野市	豊橋市美術博物館研究紀要 20	豊橋市美術博物館
兼定 刀都・関の名工	岐阜県博物館	豊橋の寺子屋展	豊橋市美術博物館
特別展 信長・秀吉・家康と美濃池田家—大御乳・池田恒興・輝政の戦い—	岐阜県博物館	岡崎市美術博物館年報 平成27・28年度	岡崎市美術博物館
美濃国方県群真福寺村大野家文書目録	岐阜市歴史博物館	三河の秋葉信仰—火伏の神の系譜	岡崎市美術博物館
特別展 長良川が育む 竹の造形 和紙の彩—岐阜の伝統工芸とわざ—	岐阜市歴史博物館	特別企画展 家康の肖像と東照宮信仰	岡崎市美術博物館
特別展 『瀬戸物として売られた美濃焼—江戸時代の焼物生産と販売—』	土岐市美濃陶磁歴史館	企画展 明治150年記念 明治時代の瀬戸窯業～超絶技巧の世界～	瀬戸蔵ミュージアム
旧大原村 水野家文書「堅帳・横帳」解説文集 その一	大原を語る会	尾張藩草莽隊 戊辰戦争と尾張藩の明治維新	風媒社
静岡市立登呂博物館館報 24	静岡市立登呂博物館	写真アルバム 橋本・紀の川・岩出・伊都の昭和	樹林舎
富士・沼津・三島三市博物館共同企画展 明治150年『御一新!!～庶民が体験した沼津の幕末維新～』	沼津市明治史料館	特別展 イクメン!! 平安貴族の子育てパパ宣言!!	斎宮歴史博物館
沼津市歴史民俗資料館資料集 31 駿東郡原町誌(原町誌稿)	沼津市歴史民俗資料館	らんのおふしぎ発見! 本居宣長記念館見学ノート	本居宣長記念館
沼津市博物館紀要 42	沼津市歴史民俗資料館	鈴屋学会報 35	鈴屋学会
沼津のひもの・かつおぶし 国指定漁具コレクション 水産加工用具	沼津市歴史民俗資料館	史料調査国庫補助事業 亀山市域近世近代史資料調査事業 田中稲蔵家史資料調査報告書	亀山市歴史博物館
名古屋市博物館研究紀要 41	名古屋市博物館	三重県史 資料編 中世3(中)・(下)・別冊	三重県
資料叢書 3 猿猴庵の本(第24回配本) 東街便覧図略 巻七	名古屋市博物館	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要 34	滋賀県立琵琶湖文化館
企画展 博物館イキ!	名古屋市博物館(教	平成29年度 年報	滋賀県立安土城考古博物館
		開館25周年記念 企画展 『収蔵品で語る城郭と考古—城郭編—』 『同一考古編—』	滋賀県立安土城考古博物館
		開館25周年記念 秋季特別展 青銅の鐸と武器—近江の弥生時	滋賀県立安土城考古博物館

代とその周辺—

武将たちは何故、神になるのか—神像の成立から天下人の神格化まで—

大津市歴史博物館研究紀要 23

大津京遷都一三五〇年記念 企画展 大津の都と白鳳寺院

本多氏入封四〇〇年記念 企画展 膳所城と藩政 築城から幕末十一烈士事件まで

企画展「田上でぬぐい—暮らしと文化—」パンフレット

彦根城博物館研究紀要 28

商家のうつわ—湖東の商家伝来のやきもの—

彦根城博物館年報 平成 29 年度

彦根製糸場—近代化の先駆け—

長曾祢虎徹—新刀随一の匠—

栗東歴史民俗博物館紀要 24

滋賀大学教育学部紀要 67

滋賀大学環境総合研究センター研究年報 (通巻第 15 号)

文化財修理報告書 16

滋賀県立大学 学芸員課程報告書 20

人間文化 45、46

京都府埋蔵文化財調査報告書 (平成 29 年度)

京都文化博物館研究紀要 朱雀 30

京都文化博物館 2017 (平成 29) 年度年報

展示図録四— 文字のささやき—京都府出土の文字資料—

秋季特別展展示図録『天橋義塾と自由民権運動—人は人たるの本分を尽くす—』

京都市歴史資料館紀要 28

宇治市歴史資料館年報 平成 28 年度・2016

収蔵資料調査報告書 20 宇治郷の古文書

幕末明治・京都遊覧—銅版画の世界—

第 63 回企画展 山陰道鎮撫隊—丹波の郷土と幕末維新—

むしあげ 岡山に花開いた京の焼物

秋季特別展 酒飯論絵巻 ようこそ中世日本の宴の席へ

京都大学 総合博物館年報 平成 29 年度

滋賀県立安土城考古博物館

大津市歴史博物館

大津市歴史博物館

大津市歴史博物館

大津市歴史博物館

彦根城博物館

彦根城博物館

彦根城博物館

彦根城博物館

彦根城博物館

栗東歴史民俗博物館

滋賀大学教育学部

滋賀大学環境総合研究センター

楽浪文化財修理所

滋賀県立大学学芸員課

滋賀県立大学人間文化学部

京都府教育委員会

京都府京都文化博物館

京都府京都文化博物館

京都府立山城郷土資料館

京都府立丹後郷土資料館

京都市歴史資料館

宇治市歴史資料館

宇治市歴史資料館

宇治市歴史資料館

亀岡市文化資料館

茶道資料館

茶道資料館

京都大学総合博物館

2016 年度 京都工芸繊維大学美術工芸資料館年報 25

第二六回企画展 行基と山崎院

野村美術館研究紀要 28

花園大学文学部研究紀要 50

花園史学 38

キリスト教社会問題研究 67

立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム紀要 19

立命館大学国際平和ミュージアム 資料研究報告 2

同志社大学歴史資料館館報 21

平成 29 年度国宝修理装演師連盟第 23 回定期研修会

建築研究協会誌 32

特別展 飛騨真宗の伝統—照蓮寺高山移転四三〇年—

京都府埋蔵文化財情報 133、134

大山崎町埋蔵文化財調査報告書第 51 集

大山崎町埋蔵文化財調査報告書 52—長岡京跡右京第 1161 次・第 1153 次調査—

大山崎町埋蔵文化財調査報告書 53—平成 29 年度国庫補助事業調査報告—

京丹波町埋蔵文化財調査報告書 1 蒲生野遺跡第 1 次・蒲生野古墳群第 1 次

日本近世美術研究 1

MINERVA 歴史・文化ライブラリー<sup>③</sup> 世界史とつながる日本史—紀伊半島からの視座—

雑賀一向一揆と紀伊真宗

弥生博のカイトとリュウさん 第 1 巻ふらす

平成 28 年度 大阪府立弥生文化博物館要覧

夏季企画展 弥生のマツリを探る 祈りのイメージと祭場

秋季特別展 発見! 古代エジプト

弥生時代の高地性集落とは—大阪における特徴と性質—

大阪府立近つ飛鳥博物館館報 21

一須賀古墳群を考える

夏季企画展図録「百舌鳥・古市古墳群に学ぶ、古墳と水のマツリ」

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

大山崎町歴史資料館

野村美術館

花園大学文学部

花園大学文学部・考古学研究室・史学会

同志社大学人文科学研究所

立命館大学国際平和ミュージアム

立命館大学国際平和ミュージアム

同志社大学歴史資料館

国宝修理装演師連盟

(財)建築研究協会

大谷大学博物館

京都府埋蔵文化財調査研究センター

大山崎町教育委員会

大山崎町教育委員会

大山崎町教育委員会

大山崎町教育委員会

京丹波町教育委員会

北島古美術研究所

株式会社ミネルヴァ書房

株式会社法蔵館

大阪府立弥生文化博物館

大阪府立弥生文化博物館

大阪府立弥生文化博物館

大阪府立弥生文化博物館

大阪府立弥生文化博物館

大阪府立近つ飛鳥博物館

大阪府立近つ飛鳥博物館

大阪府立近つ飛鳥博物館

秋季特別展 4世紀のヤマト王権と対外交渉—東アジア情勢と古墳の変化—	大阪府立近つ飛鳥博物館	建都オープン記念・秋季特別展 東洋一の夢の跡—吹田操車場遺跡展—	吹田市立博物館
冬季企画展 歴史発掘おおさか 2017～2018—大阪府発掘調査最新情報—	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成30年度特別展示 海の幸山の幸 展示解説書	東大阪市立郷土博物館
大阪歴史博物館蔵資料集 14 建築家・中村順平資料2	大阪歴史博物館	八尾市立歴史民俗資料館報(平成29年度)・研究紀要29	八尾市立歴史民俗資料館
大阪歴史博物館蔵資料集 15 堀田コレクション	大阪歴史博物館	市制70周年記念特別展『豊作への祈り—大阪府内の農耕儀礼—』	八尾市立歴史民俗資料館
大阪歴史博物館研究紀要 16	大阪歴史博物館	志学台考古 18—年代・産地・分析等—	大阪大谷大学・博物館・歴史文化学科
共同研究成果報告書 12 —中村順平のスケッチブックと図面類の画題・作画時期解明に関する研究—	大阪歴史博物館	歴史文化研究 18	大阪大谷大学・博物館・歴史文化学科
大阪歴史博物館年報 平成29年度	大阪歴史博物館	影印 河内屋可正旧記三 大阪大谷大学博物館報告書 65	大阪大谷大学博物館
特別展 はにわ大行進—長原古墳群と長原遺跡—	大阪歴史博物館	大阪市立自然史博物館館報 42、43	大阪市立自然史博物館
特別展 100周年記念 大阪の米騒動と方面委員の誕生	大阪歴史博物館	関西大学博物館紀要 24	関西大学博物館
大阪市立美術館紀要 19	大阪市立美術館	夏季企画展 神戸市立博物館選地図皿にみる世界と日本	関西大学博物館
大阪城天守閣紀要 42	大阪城天守閣	アジア観光学年報 19	追手門学院大学国際教養学部アジア学科
徳川時代大坂城関係史料集 18 大坂城代記録(八)	大阪城天守閣	大阪大学総合学術博物館叢書 14 ロボットからヒトを識る	大阪大学出版会
特別展 幕末・維新の人とことば	大阪城天守閣	史泉 128	関西大学文学部史学・地理学会
おほつ研究 11<研究紀要>	泉大津市立織編館	春季企画展「土木遺産展—関西のダムめぐり—」	大阪府立狭山池博物館
平成29年度地域環境基金活用事業報告書 いずみおおつの近代漁業—時代とともに変容する漁業の記録—	泉大津市立織編館	池守田中家文書特別公開 狭山池をとりまく神々と社	大阪府立狭山池博物館
泉大津市文化財調査報告 55 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概要 38	泉大津市教育委員会	泉南市遺跡郡発掘調査報告書 XXV 泉南市文化財調査報告書 59	泉南市教育委員会
市制六〇周年記念春季企画展図録 今町—三田家・寺田家からみた柏原村—	柏原市立歴史資料館	信達神社歴史的建造物調査報告書 泉南市文化財調査報告書 60	泉南市教育委員会
鍛冶の郷—大泉と田辺—	柏原市立歴史資料館	阪南市の歴史文化遺産 ～指定文化財を中心に～	阪南市教育委員会
水野家文書	柏原市立歴史資料館	阪南市埋蔵文化財報告 56～59 阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 34～37	阪南市教育委員会
柏原市立歴史資料館館報 30	柏原市立歴史資料館	杏雨 21	(財)武田科学振興財団 杏雨書屋
特別展 堺緞通ものがたり—日本の緞通、世界を結ぶ—	堺市博物館(教育委員会)	夏季企画展 <シリーズ ハニワールドへようこそ>威儀のもの—王権儀礼の威容を示す器財埴輪—	高槻市立今城塚古代歴史館
堺市博物館研究報告 37	堺市博物館(教育委員会)	春季特別展 古代の日本海文化—太邇波の古墳時代—	高槻市立今城塚古代歴史館
西村公朝作品収蔵記念/春季特別展 西村公朝 芸術家の素顔	吹田市立博物館(教育委員会)	高槻市立今城塚古代歴史館・しろあと歴史館 秋季合同特別展 「藤原鎌足と阿武山古墳」	高槻市立今城塚古代歴史館
企画展 ニュータウン誕生 千里&多摩ニュータウンに見る都市計画と人々	吹田市立博物館	春季特別展 継体大王と紀氏—今城塚と紀伊の古墳—	高槻市立今城塚古代歴史館
吹田市立博物館館報 18	吹田市立博物館		

今城塚古代歴史館資料集2 『阿武山古墳調査写真集—昭和9年の記憶—』	高槻市立今城塚古代歴史館	柴原家文書 年中用事控(Ⅲ) 明治の福崎 福崎の近代化と明治の人々	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館
阪急文化研究年報7	(財)阪急文化財団	甲南大學紀要 文学編 168、169	甲南大学文学部
狭山池築造1400年・狭山藩誕生400年記念 狭山池シンポジウム2016 城郭から考える近世社会と技術—狭山池が生み出した新たな一面—記録集	大阪狭山市教育委員会	大手前大学史学研究所・西宮市教育委員会合同シンポジウム 新発見・西宮の地下に眠る古代遺跡—浮かびあがる武庫郡の中心	大手前大学史学研究所
歌神と古今伝受	廣橋研三	大手前大学史学研究所紀要12	大手前大学史学研究所
熊野本願所史料	清文堂出版株式会社	関西学院史学46	関西学院大学 史学会
ひょうご歴史研究室紀要3	兵庫県立歴史博物館(ひょうご歴史研究室)	姫路市史編集資料目録集68	姫路市教育委員会事務局
館報 2015・2016	兵庫県立歴史博物館	やきものを分析する—装飾編	兵庫陶芸美術館
兵庫県立歴史博物館紀要 塵界29	兵庫県立歴史博物館	淡路市埋蔵文化財調査報告書14 平間遺跡発掘調査報告書—経営体育成基盤整備事業 生田大坪地区に伴う発掘調査	淡路市教育委員会
兵庫県政百五十周年記念先行事業 特別展「ひょうごと秀吉—近年の新紹介資料を交えて」	兵庫県立歴史博物館	特別展—日本画画業35周年記念—後藤仁 日本画・絵本原画／後藤大秀 からくり人形—赤穂出身の日本画家・絵本画家、初の里帰り展—	赤穂市立美術工芸館 田淵記念館
神戸開港150年記念特別展「開国への潮流—開港前夜の兵庫と神戸—」記念シンポジウム「神戸開港と港の近代化」報告書 神戸開港150年記念プログラム事業	神戸の文化発信実行委員会	伊丹市昆虫館研究報告5	伊丹市昆虫館
神戸市立博物館・神戸松蔭女子学院大学連携事業 明治の錦絵をもとにした同時代の衣装イメージの再現制作	神戸の文化発信実行委員会	特別展「落ちない城・白旗城」PRプロジェクト発足1周年記念 赤松氏のふるさとをゆく	上郡町郷土資料館
明治時代の洋菓子再現	神戸の文化発信実行委員会	兵庫県指定重要有形文化財 大庄屋 三木家住宅 特別展示パンフレット2 三木家好学の当主 三木通深	福崎町教育委員会
神戸市立博物館研究紀要34	神戸市立博物館	神戸市史紀要「神戸の歴史」27	神戸市(文書館)
神戸市立博物館 館蔵品目録 考古・歴史の部34	神戸市立博物館	あすかの原風景	奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
地域研究いたみ47	伊丹市役所	奈良文化財研究所概要2018	奈良文化財研究所
維新のたつの～最後の殿様と龍野県～	たつの市立龍野歴史文化資料館	秋期特別展 よみがらる飛鳥の工房—日韓の技術交流を探る	奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
たつのに鉄道がやってきた～山陽鉄道姫新線そして幻の鉄道～	たつの市立龍野歴史文化資料館	冬期企画展 飛鳥の考古学2018 飛鳥資料館カタログ35	奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
八十塚古墳群の時代～武庫平野における群集墳の成立と展開～特別展示展示案内図録	西宮市立郷土資料館	奈良県立美術館紀要32	奈良県立美術館
西宮歴史調査団年報 2016年度版	西宮市立郷土資料館	奈良県立美術館年報—平成28年度—	奈良県立美術館
所蔵品選集 刀剣	(財)黒川古文化研究所	創立80周年記念特別展 古代の輝き—日本考古学と橿考研80年の軌跡I、同 II	県立橿原考古学研究所附属博物館
播磨学紀要22	播磨学研究所	大和を掘る36—2017年度発掘調査速報展—	県立橿原考古学研究所附属博物館
城郭研究室年報27	姫路市立城郭研究室(教育委員会)	天理参考館報31	天理大学附属天理参考館
姫路市史2 本編 古代 中世	姫路市	特別展「がっこうの下には何が あったの?—市内小学校区の最	(公財)桜井市文化財協会
赤穂市史史料集5 真光寺旧蔵・	赤穂市史編纂室		

新調査成果から～		特別展図録『明治 150 年記念 明治・大正期の箕島』	有田市郷土資料館
桜井市立埋蔵文化財センター企画展「桜井の墨書土器」	(公財) 桜井市文化財協会	海南市文化財調査報告書 52	海南市教育委員会
平成 28(2016)年度橿原市文化財調査年報	橿原市教育委員会	海南市内遺跡発掘調査概要—平成 28 年度—	海南市教育委員会
企画展「唐古・鍵考遺跡の重要文化財～新指定品の紹介～」	田原本町教育委員会	国指定史跡熊野参詣道紀伊路(藤白坂・藤白王子跡・藤代塔下王子跡・一壺王子跡)保存活用計画	海南市教育委員会
秋季企画展「古墳時代黎明～唐古・鍵弥生ムラのその後～」	田原本町教育委員会	くらしの玉手箱～ちよっと昔の楽しみ～	海南市立歴史民俗資料館
唐子・鍵遺跡考古資料目録Ⅲ	田原本町教育委員会	古文書徹底解釈 紀州の歴史 5	和歌山県立文書館
木器・木製品・石器・石製品編	田原本町教育委員会	和歌山県立文書館紀要 20	和歌山県立文書館
小林家文書目録	田原本町教育委員会	岩橋千塚古墳群—大谷山 27 号墳・28 号墳発掘調査報告書—	和歌山県(教育委員会)
田原本町文化財調査年報 25	田原本町教育委員会	和歌山県埋蔵文化財調査年報—平成 28 年度—	和歌山県(教育委員会)
2015 年度	帝塚山大学考古学研究所	和歌山県指定文化財高原熊野神社本殿保存修理工事報告書	和歌山県文化財センター
帝塚山大学考古学研究所研究報告 XX	帝塚山大学考古学研究所	地宝のひびき—和歌山県内文化財調査報告会—	和歌山県文化財センター
帝塚山大学附属博物館報 XIII	帝塚山大学附属博物館	公益財団法人和歌山県文化財センター年報 2017	和歌山県文化財センター
纏向学研究センター研究紀要	桜井市纏向学研究センター	公開シンポジウム「中世紀の国の武士団とその居館」	和歌山県文化財センター
纏向学研究 6	桜井市纏向学研究センター	和歌山市内遺跡発掘調査概報—平成 28 年度—	和歌山市教育委員会
桜井市 纏向学研究センター年報 6	桜井市纏向学研究センター	橋谷遺跡発掘調査報告書	和歌山市教育委員会
奈良文化財研究所紀要 2018	国立文化財機構奈良文化財研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 39	紀州経済史文化史研究所
宇陀市文化財調査報告書 6 片岡家文書調査報告書	宇陀市教育委員会	特別展 加太・友ヶ島の信仰と歴史—葛城修験二十八宿の世界—	紀州経済史文化史研究所
東大寺境内整備事業報告 1 東大寺東塔院跡—境内史跡整備事業に係る発掘調査概報 1—	宗教法人東大寺	あかね 38	御坊文化財研究会
東大阪市立埋蔵文化財センター 2016 年度、2017 年度	東大阪市立埋蔵文化財センター	現代の織Ⅲ 朝倉美津子	田辺市立美術館
道成寺縁起—絵巻でたどる物語—	和歌山県立博物館	田辺市立美術館年報 10	田辺市立美術館
和歌山県立博物館研究紀要 24	和歌山県立博物館	由良町の文化財 45	由良町教育委員会
特別展 紀伊徳川家 やきもの新時代—富国と栄華の 19 世紀—	和歌山県立博物館	熊楠研究 12	南方熊楠顕彰会
きのくに 縁起絵巻の世界—開かれる秘密の物語—	和歌山県立博物館	井辺遺跡第 23・27・30・33・34・36・42 次・津秦Ⅱ遺跡第 9・10・14 次発掘調査報告書—松島本渡線道路建設に伴う発掘調査—	(財)和歌山市文化スポーツ振興財団
西行法師生誕九〇〇年記念特別展 西行—紀州に生まれ、紀州をめぐる—	和歌山県立博物館	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 平成 24 年度(2012 年度)～平成 26 年度(2014 年度)	(財)和歌山市文化スポーツ振興財団
ガイドブック につぼん風土記の旅	和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 平成 28 年度(2016 年度)	(財)和歌山市文化スポーツ振興財団
秋期特別展「黒潮の海に糧をもとめて—古墳時代の海の民とその社会—」	和歌山県立紀伊風土記の丘	紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書—平成 28 年度—	紀の川市教育委員会
紀伊風土記の丘年報 43	和歌山県立自然博物館	積善の家 羽山家の紀	塩屋文化協会
和歌山県立自然博物館館報 36	和歌山県立自然博物館	寂光院 2017 年	歴史的建造物映像化の会
特別展解説書 小さな粘菌の大きなワンダーランド—南方熊楠を魅了した生き物—	和歌山県立自然博物館	かつお節発祥の地「印南浦浪漫	印南町文化協会
橋本市郷土資料館報 32	橋本市郷土資料館		

を追う」		生涯	
熊野誌 64	船上光次	企画展図録 阿波漁民ものがたり—海を渡り歩いた漁師たちの5つの話—	徳島県立博物館 (教育委員会)
城下町の風景 増補精彩版 付加太・友ヶ島の風景—カラーでよむ『紀伊国名所図会』—	ニュース和歌山株式会社	徳島県立博物館研究報告 28	徳島県立博物館
熊野 (改題くちくまの) 154、155	紀南文化財研究会	徳島県立博物館年報 27	徳島県立博物館
和歌山地方史研究 75、76	和歌山地方史研究	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 8 (平成 29 年度)	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
企画展 長澤蘆雪—躍動する筆墨—	松江歴史館	ひな人形の世界 15	徳島市立德島城博物館
松江歴史館研究紀要 第六号	松江歴史館	こども博物館 徳島城探検隊	徳島市立德島城博物館
特別展 本能寺の変—再考 何が明智光秀を決起させたか	松江歴史館	徳島のたから	徳島市立德島城博物館
大美保関—出雲国の玄関口—	松江歴史館	特別展 討入りとその周辺—赤穂義士と徳島藩—	徳島市立德島城博物館
千変万化の出雲焼—茶陶から鑑賞陶器—	松江歴史館	徳島市立德島城博物館年報 第 26 号 (平成 29 年度)	徳島市立德島城博物館
松江歴史館蔵 極秘諸国城図 図版集	松江歴史館	新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—	徳島市立德島城博物館
特別 サムライアーマー甲冑—岡山ゆかりの名品と変わり兜—	岡山県立博物館	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館館報 歴史の里 21	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
岡山県立博物館研究報告 39	岡山県立博物館	ミュージアム調査研究報告 9	香川県立ミュージアム
特別展『岡山ゆかりの肖像』	岡山県立博物館	収蔵資料目録 10	香川県立ミュージアム
竹喬研究 1	笠岡市立竹喬美術館	特別展 讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界	香川県立ミュージアム
倉敷市立自然史博物館研究報告 33	倉敷市立自然史博物館	高松松平家歴史資料目録VI 武器・武具 (甲冑・鉄砲・馬具等)	香川県立ミュージアム
特別展図録「岡山の野鳥たち—むかし・いま・みらい—」	倉敷市立自然史博物館	松山市文化財調査報告書 194	
倉敷市立自然史博物館館報 27	倉敷市立自然史博物館	恵原新張遺跡—1 次・2 次・3 次調査—	松山市教育委員会
津山市史研究 4	津山市史編さん室	松山市埋蔵文化財調査年報 30	(財)松山市文化・スポーツ 振興財団埋蔵文化財センター
津山郷土博物館紀要 30 津山松平藩町奉行日記 24	津山郷土博物館 (教育委員会)	人文学論叢 19	愛媛大学人文学会
津山郷土博物館年報 平成 29 年度	津山郷土博物館	愛媛大学法文学部論集 人文学編 45、46	愛媛大学文学部・人文学会・法文学部
第 41 回岡山戦災の記録と写真展 空襲はいかにして行われたか 1941—1945	岡山空襲展示室	高知県立歴史民俗資料館年報 27	高知県立歴史民俗資料館
岡山蘭学の群像 3	公益財団法人山陽放送学術文化財団	企画展 維新が変えた庶民のくらし 絵馬から読み解く高知の近代	高知県立歴史民俗資料館
和風 140~144	上田流和風堂	高知県立高知城歴史博物館 年報 1・2	(財)土佐山内記念財団
企画展「感謝・還暦! 広島城—よみがえった城」展示解説書	公益財団法人広島市文化財団 広島城	柳川古文書館史料目録 27 中村 (裕) 家史料目録	柳川古文書館
(公財)広島市文化財団発掘調査報告書 5 四本寺第 2 号古墳—広島市安佐南区緑井 8 丁目所在—	(公財)広島市文化財団 文化科学部文化財課	柳川古文書館年報 平成 29 年度	柳川古文書館
広島大学総合博物館研究報告 9	広島大学総合博物館	九州歴史資料館 研究論集 43	九州歴史資料館
山口県立美術館年報 平成 27~28 年度	山口県立美術館	最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真—一家康に「鬼孫」と呼ばれた男—	北九州市立自然史・歴史博物館
雪舟発見! 展	山口県立美術館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類 歴史 15	北九州市立自然史・歴史博物館
秋吉台化学博物館報告 53	秋吉台科学博物館		
初代内閣総理大臣 伊藤博文の	伊藤公資料館		

前畑遺跡第13次発掘調査 土塁 状遺構発掘調査概要 筑紫野市 文化財調査報告書 116	筑紫野市教育委員 会	・「陸奥陽之介宗光上書」はじめ	30件
原田地区遺跡群 4 筑紫野市文 化財調査報告書 114	筑紫野市教育委員 会	企画展示「和歌山城の近代—明治維新以降のお 城と城下町」 (平成30年 7月 14日～8月26日)	
西鉄筑紫駅銃撃事件の記録 筑 紫野市文化財調査報告書 115	筑紫野市教育委員 会	・和歌山絵図	1点
柳川の歴史 1 やながわの成り 立ち	柳川市史編集委員 会	・和歌山区史 (明治12年)	1点
立願寺大塚古墳測量調査報告書 福岡大学考古学研究室研究調査 報告書 12	福岡大学人文学部 考古学研究室	・和歌山市地籍図 一番丁・三番丁・四番丁・五番丁	1点
鳴滝紀要 27	シーボルト記念館		
熊本博物館館報 30	熊本市立熊本博物 館	企画展示「和歌山城天守閣 再建」 (平成30年 9月29日～11月18日)	
野津古墳群・大野窟古墳保存活 用計画書	氷川町教育委員会	・天守閣再建関連ポスター	4枚
大分県歴史資料調査報告 5	大分県立歴史博物 館	・天守閣再建関連ビラ	2枚
大分県仏教美術調査報告 4	大分県立歴史博物 館	企画展示「和歌山の市電と和歌山城」 (平成 31年 2月 9日～3月 17日)	
大分県立歴史博物館年報 2017	大分県立歴史博物 館	・電車沿線案内	1点
大分県荘園村落遺跡詳細分布調 査概要報告書 沖代条里の調査 2 開館 30周年/大友氏館跡発掘調 査 20周年記念特別展 威信の舞 台 よみがえる大友館	大分市歴史資料館 (教育委員会)	●和歌山県立博物館 特別展「紀伊徳川家 やきもの新時代—富国と 栄華の19世紀—」 (平成30年 4月21日～6月 3日)	
宮崎県総合博物館年報 47	宮崎県総合博物館	・南紀男山焼 偕楽園画製 色絵花蝶文花生	1口
宮崎県総合博物館研究紀要 38	宮崎県総合博物館	・唐美人図 田村高山筆	1幅
都城島津伝承館史料集 7「都城島 津家役所日記 七」	都城島津邸	・轆轤図 光川亭仙馬筆	1幅
鹿児島大学総合研究博物館年報 16	鹿児島大学総合研 究博物館	・鈴丸陶器所図 鈴木雲溪筆	1幅
鹿児島大学埋蔵文化財調査セン ター調査報告書 11 鹿児島大学 構内遺跡群元団地 J・K-9・10区 (工学部校舎)発掘調査報告 第 2 回共同研究会 土器・金属 器の日韓交渉	鹿児島大学埋蔵文 化財調査センター 嶺南大學校博物館	・西浜御殿之図 (海野図)	1枚

## 4. 資料の貸出

本年度の資料の館外貸出 (展覧会への出陳等) は、76件であった。貸出先、展覧会名称、会期、貸出資料等は以下のとおりである。

### ●わかやま歴史館

常設展示

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

企画展「城下町を歩こう」

(平成30年 7月 14日～8月26日)

- ・日本国々繁花角力 1枚
- ・紀陽持丸鑑 1枚
- ・栗林八幡宮参拝御行列図 1巻
- ・昌平河岸納涼夜店の図 1冊
- ・類集略記 三 1冊
- ・菓子木型 (初桜) 2枚 1組

- ・菓子絵手本 1冊
- ・瓦版 紀州大地震 大津浪の次第 1枚
- ・岩瀬広隆自画像 1幅
- ・わかまつり絵巻 1巻
- ・和歌御祭礼御増書 1通

企画展「徳川治宝が生きた時代」  
(平成31年1月26日～3月3日)

- ・紀伊公岡崎駅通行行列図巻 1巻
- ・和歌祭礼行列書 1冊

●大阪歴史博物館

特別企画展「没後130年 なにわ人物誌 堀田  
龍之助―幕末・近代の大阪に生きた博物家―」  
(平成30年4月25日～6月18日)

- ・畔田翠山肖像 1幅
- ・水族図譜(森関山筆) 5冊
- ・水族志(畔田翠山筆) 4冊

●株式会社総本家駿河屋

本社工場見学コース  
(平成30年7月25日～平成31年3月31日)

- ・菓子木型 5点

●さかい利品の杜

企画展「利品に探る 与謝野晶子コレクション」  
(平成30年11月2日～12月16日)

- ・菓子絵手本 2冊
- ・菓子木型(鶴寿紋) 1点

## 5. 映像資料概要

本館の常設展示室には、原始・古代・中世・近世・近代の各コーナーに5台のビデオ放映器(VTD)と、民俗コーナーに1台のビデオプロジェクターを設置している。

VTDは、シリコンディスク使用のパソコンとタッチパネル式の19インチモニターを採用し、モ

ニター画面を手で触れることで映像を選択できるようになっている。

ビデオプロジェクターもシリコンディスク仕様のパソコンと100インチの平面スクリーンを設置し、照光式のボタン式スイッチで映像を選択できるようになっている。

映像については、それぞれ3分前後の内容を数本収録し、視覚的な紹介をしている。

- ・常設展示室各コーナー収録番組

原始：弥生時代の太田・黒田遺跡

太田・黒田の銅鐸

大谷古墳の発掘

古代：奈良時代のくらし―木簡はかたる―

古代和歌山の伝教

万葉集―笠朝臣金村の長歌―

大同寺の蔵骨器

中世：棕田(笠田)荘の荘園絵図

中世の遺跡をたずねて

津田監物と鉄砲

雑賀鉢の謎

絵画に見る太田城水責め

近世：あるくみる城下町

和歌山城の門

八代将軍徳川吉宗―その武と雅―

城下町和歌山の文化

紀州藩と茶道

紀州の黒船ディアナ号

近代：昭和初年への旅立ち

―その頃の和歌山は―

戦争で子どもたちまで勤労働員

和歌山大空襲

和歌山城の再建

民俗：雛流し 淡島神社

和歌祭 紀州東照宮

茅の輪祭 伊太祁曾神社

団七踊 岡崎団七踊保存会

木ノ本の獅子舞 木本八幡宮

## Ⅲ 令和元年度の計画

### 1. 令和元年度事業予定概要

平成 26 年度に博物館の基本的運営方針を策定し、27 年 4 月からウェブサイトにおいて和歌山市立博物館基本的運営方針を公開している。

そして、27 年度から、この基本的運営方針に従って博物館を運営し、点検し、評価を受けて、開かれた博物館をめざして活動している。

また、今年度は「博物館基本計画策定事業」として、市民により親しまれる博物館づくりを目指すべく、今後の取り組み、施設の機能のほか、管理運営の在り方、来館者増への方策などを博物館の「基本計画」として策定する。

#### 常設展

常設展は、開館以来、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに和歌山市域を対象とした通史的な展示を行っている。常設展示室にはコーナー展示といって、2 か月ごとに大幅な展示替えをする展示ケースを 2 か所に設けている。それぞれ年 5 回、下記のとおり展示替えを行っている。

そのほか、エントランスホールでは 7 月 6 日～8 月 4 日に「昭和 20 年 7 月 9 日和歌山大空襲—(続)伝えたい あのときの記憶—」など、その時々タイムリーなホール展示を開催し、収蔵資料を公開する機会を増やしている。また 3 月には、特集展示として、平成 30 年度に当館に寄贈していただいた資料を紹介する展覧会を開催する。

#### コーナー展示

・ 4 月 2 日～6 月 2 日

「和歌山市における南北朝時代」「描かれた花々」

・ 6 月 4 日～8 月 4 日

「徳川頼宣の傳役・三浦為春と家老三浦家」「弥生時代の大規模集落—宇田森遺跡」

・ 8 月 6 日～10 月 6 日

「紀州の鉄砲」「ヘンリー杉本」

・ 10 月 8 日～1 月 5 日「描かれた紀州の海岸」「写真にみる戦後の和歌海苔」

・ 1 月 7 日～3 月 29 日

「絵画にみる米づくり」「江戸時代の加太」

#### 特別展

本年度も昨年度と同じく夏と秋の 2 回、特別展を行う。

夏季特別展は、「雑賀衆と鷲ノ森遺跡—紀州の戦国—」をテーマに、8 月 24 日から 9 月 29 日まで開催する。本展覧会では、徳川頼宣をテーマとした秋季特別展が扱う江戸時代以前の戦国時代に和歌山で活躍した雑賀衆をテーマとする。また、伏虎義務教育学校建設の際に発掘調査された鷲ノ森遺跡からは、城下町以前の和歌山の様相をうかがい知ることのできる貴重な遺構・遺物が見つまっている。その成果を市民に紹介するとともに、鷲森別院の寺宝、雑賀衆に関する歴史資料を展示することによって、戦国時代の和歌山を知っていただく機会とする。

秋季特別展は、「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」をテーマに 10 月 19 日から 11 月 24 日まで開催する。元和 5 年(1619)、浅野家に代わって、徳川家康の 10 男である頼宣(1602～71)が、紀伊藩初代藩主となった。令和元年(2019)は、その頼宣が和歌山に入国して 400 年の節目にあたる。この節目の年にあたり、当館と和歌山県立博物館との合同調査の成果もふまえ、頼宣や頼宣ゆかりの人物に関わる資料を展示する。また、250 年続いた紀伊徳川家の時代に築かれ政治や文化の礎となった関連資料も展示する。なおこの特別展は和歌山県立博物館と共同で企画、同時開催を予定している。

#### 企画展

収蔵資料を中心として、これまで春と冬の 2 回、企画展を開催しているが、今年度から 3 回の企画展を開催する。

春季企画展は、「写真にみる和歌山市の歩み 1889-2019」をテーマに、4月27日～6月9日まで開催する。令和元年は、和歌山市が市制を施行して130年の記念の年にあたる。その間、和歌山市は様々な経験をしたが、とりわけ昭和20年の和歌山大空襲は、市民生活に大きな打撃を与えた。この展覧会では、和歌山市が歩んできた道のりを概観するとともに、戦争後の悲惨な状態から和歌山市が復興し、発展していく過程を写真で紹介する。

夏季企画展は、「和歌山市出身の洋画家 没後20年 中畑艸人」をテーマに7月13日～8月12日まで開催する。中畑艸人(1912-99)は、和歌山市出身の洋画家である。初め、独学で水彩画を描いていたが、後に画家・裕伊之助はざまい のすけに師事し、油彩画を描くようになった。馬の絵をライフワークとし、躍動感あふれる馬を数多く描いた。本展覧会では、中畑艸人没後20年を記念して、彼の描いた馬の絵を中心に、中畑艸人の画家としての生き方を概観する。

冬季企画展は「歴史を語る道具たち」をテーマに、1月7日から3月1日まで開催する。この展覧会は、市民から寄贈された生活道具や農機具等の民具を展示し、昔のくらしの実態を示すとともに、それらの民具を通じて、人びとの生活の智恵と工夫を理解してもらうものである。本展は、学校教育との連携で、小学校3年生の社会科の授業に関連させた企画で、毎年この時期に開催している。

### 市博講座等

今年度から新たな試みとして各学芸員が研究テーマとしている分野についての講座「学芸員講座 歴史の玉手箱」を開始する(全8回)。好評の古文書講座は、引き続き5月から翌3月まで、原則として月1回第2日曜日に計10回開催する。テーマは「戦国時代の紀州の古文書を読む」を予定している。

また、平成30年12月から開始した、学芸員が

市内各地に出向き、その地域の歴史や文化財をわかりやすく紹介する「博物館おでかけ歴史講座」は今年度も引き続き、随時開講する。

映画会は、7月には和歌山大空襲に関する記録映画を上映する。

◇学芸員講座「歴史の玉手箱」

4月～7月及び12月～3月の第3土曜日に計8回:各学芸員が研究テーマとしている分野についての講座を開催する。

◇古文書講座—戦国時代の紀州の古文書を読む—:5月から令和2年3月までの毎月第2日曜日(計10回)

◇博物館おでかけ歴史講座:随時受付

◇記録映画会:7月6日(土)映画会「和歌山大空襲」と「空襲体験絵巻」

### 体験学習

教育普及事業の一環として、子どもたちに郷土の歴史・文化への関心を高めてもらうため、本年度は次の4回の体験学習を開催する。

- ・8月5日 休館日の博物館を探検しよう
- ・8月11日 割りばしゴム鉄砲をつくろう
- ・1月25日 むかしの遊びを体験しよう
- ・2月22日 むかしの遊びを体験しよう

### 史跡散歩

史跡散歩は市内の史跡や文化財に親しんでもらうため、毎年開催している。今年は11月30日に「熊野古道を歩く—矢田峠を越えて—」と題して、市内の熊野古道を歩く。

### 校区探検

当館では、公立学校の週5日制の導入に対応して、市内小学校及び校区子どもセンターと協力し、校区内の歴史的スポットを見学する校区探検を開催している。本年度は秋に開催予定である。

### 調査研究

本年度は、特別展「雑賀衆と鷲ノ森遺跡—紀州の戦国—」及び「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」に関する調査研究を中心に行い、その成果はそれぞれの展示図録に反映させる。

また、特別展の年次計画に基づいて、令和2年度の展覧会の調査を進めていく。それ以降の年度に開催する予定の展覧会についても基礎調査を開始する。

そのほか、館蔵資料及び関連資料の調査研究を進め、その成果を『研究紀要』に掲載する。

### 資料収集

展示資料購入費によって、計画的に資料の購入を行っている。本年度は、祇園南海筆「七絶詩書」などの和歌山の郷土資料の購入を予定している。また、収蔵資料の充実を図るために、資料の寄贈・寄託を積極的にすすめていく。

資料の保存環境を維持するため、当館では毎年、燻蒸（消毒）を実施している。本年度は、3階収蔵庫（一般）等の燻蒸を、6月17日～24日に実施する。

### 市史関係資料の管理

保管している市史関係資料の整理を進め、資料的価値が高い文書史料の翻刻を行い、『和歌山市史研究』48号に掲載する。

### 博物館実習

各大学からの依頼を受けて、毎年、博物館実習生を受け入れている。本年度は、8月27日から31日までの5日間、博物館実習を行う。なお、受け入れに関する要項は、前掲の「博物館実習生受け入れに関する内規」のとおりである。

## 2. 令和元年度博物館当初予算

歳入

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	節	
				区 分	金 額
総務使用料	1,205	1,150	55	博物館使用料	1,205
基金収入	2	2	0	博物館振興基金収入	2
雑入	2,664	2,314	350	博物館図録等販売収入	2,664
総務費交付金	5,901	4,032	1,869	文化スポーツ費交付金	5,901
総務債	0	39,700	△39,700	文化スポーツ債	0

歳出

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳				節	
				特定財源			一般財源	区 分	金 額
				国県支出金	地方債	その他			
11 博物館費	85,419	141,797	△56,378	5,901		3,871	75,647	1 報酬 2 給料 3 職員手当等 4 共済費 8 報償費 9 旅費 11 需用費 12 役務費 13 委託料 14 使用料及び賃借料 18 備品購入費 19 負担金、補助及び交付金 25 積立金 27 公課費	126 21,730 11,851 7,264 391 791 14,162 2,272 24,129 580 2,056 51 2 14

## IV 資料

### ○入館者の動向

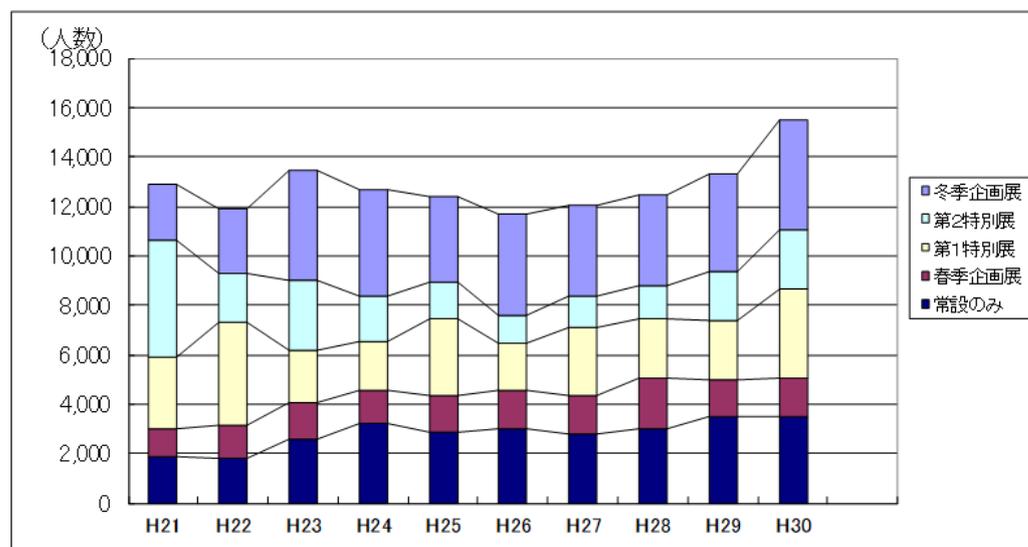
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	開館 日数	個 人			団 体・まちなか			無 料 入館者 (含団体)	合 計	1日 平均	備 考
		一般/大	小中高	小計	一般/大	まちなか	小計				
平成30年	4月 26	95	0	95	0	1	1	371	467	18.0	春季企画展
	5月 26	305	0	305	0	7	7	769	1,081	41.6	4/21～6/3
	6月 20	110	0	110	0	2	2	316	428	21.4	
	7月 26	350	0	350	0	12	12	849	1,211	46.6	夏季特別展
	8月 27	466	0	466	0	29	29	1,061	1,556	57.6	7/14～8/26
	9月 26	547	0	547	0	35	35	1,003	1,585	61.0	
	10月 26	714	0	714	21	31	52	1,686	2,452	94.3	秋季特別展
	11月 25	105	0	105	28	6	34	693	832	33.3	9/15～10/21
	12月 24	123	0	123	0	0	0	289	412	17.2	
平成31年	1月 24	139	0	139	0	5	5	1,569	1,713	71.4	冬季企画展
	2月 25	180	0	180	0	7	7	2,398	2,585	103.4	1/9～3/3
	3月 26	192	0	192	0	4	4	961	1,157	44.5	
合計	301	3,326	0	3,326	49	139	188	11,965	15,479	51.4	



## 過去10年間の入館者数の変化

	常設のみ	春季企画展	第1特別展	第2特別展	冬季企画展	総入館者数
平成21年		発掘土器ドキ！昔の和歌山	南方熊楠の世界	写真に見る戦後の和歌山	歴史を語る道具たち	
	1,865	1,121	2,928	4,696	2,251	12,861
平成22年		紀州藩の士族たち	紀州徳川家のお姫様	よみがえる和歌山の縄文世界	歴史を語る道具たち	
	1,831	1,335	4,131	2,001	2,590	11,888
平成23年		心の旅・全国の郷土玩具展	祇園南海とその時代	川端龍子と和歌山	歴史を語る道具たち	
	2,589	1,499	2,067	2,837	4,427	13,419
平成24年		新収蔵庫展 博物館のたからもの	ヘンリー杉本とその時代	華岡青洲の医塾 春林軒と合水堂	歴史を語る道具たち	
	3,226	1,319	1,998	1,805	4,301	12,649
平成25年		「博物館へ花見に行こう」	「市電が走っていた街」	「海人の世界」	歴史を語る道具たち	
	2,851	1,496	3,093	1,474	3,487	12,401
平成26年		わかやま歴史再発見	江戸時代を観光しよう	荘園の景観と絵図	歴史を語る道具たち	
	3,025	1,525	1,881	1,175	4,062	11,668
平成27年		古文書から探れ！	表千家と紀州徳川家	近代スポーツと国民体育大会	歴史を語る道具たち	
	2,806	1,525	2,787	1,223	3,661	12,002
平成28年		徳川吉宗と紀州の明君	城下町和歌山の絵師たち	玉津島ー衣通姫と三十六歌仙ー	歴史を語る道具たち	
	3,004	2,062	2,398	1,336	3,572	12,372
平成29年		紀州の風景ー和歌の浦を中心にー	幕末の紀州藩	美尽し善極めるー駿河屋の菓子木型ー	歴史を語る道具たち	
	3,525	1,434	2,424	1,983	3,967	13,333
平成30年		和歌浦には名所がござる	お殿様の宝箱ー南葉文庫と紀州徳川家伝来の美術ー	和歌山城再発見	歴史を語る道具たち	
	3,520	1,513	3,594	2,420	4,432	15,479



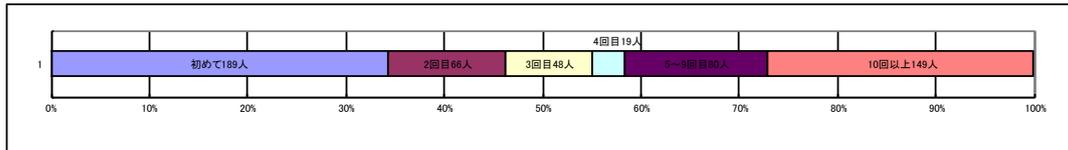
## ○アンケートの集計

平成30年度の2回の特別展開催時に回収されたアンケートの集計結果を提示する。  
 期間中の総入館者は6,014名、アンケート数は556通(回収率:9.2%)。

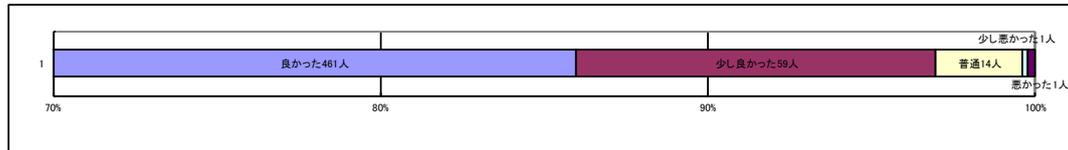
### 1. どちらから来られましたか？



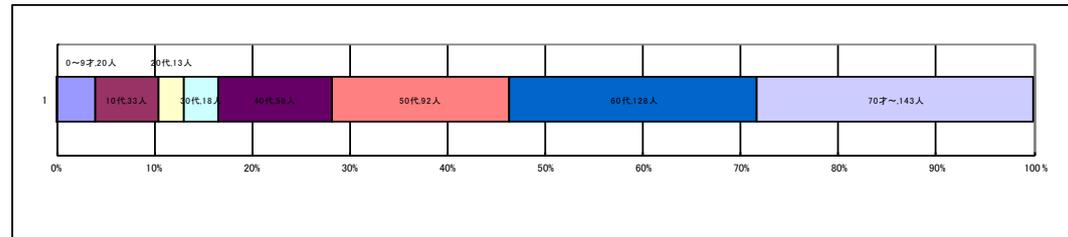
### 2. 来館は何回目ですか？



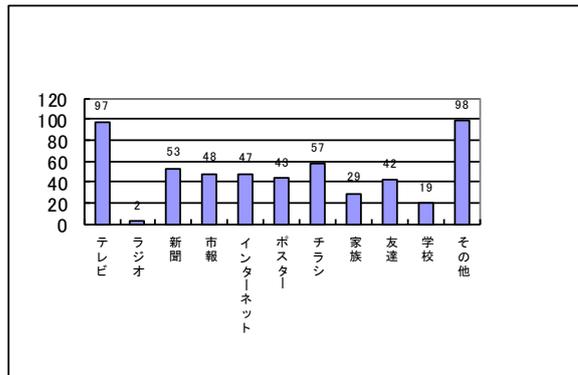
### 3. 展示はいかがでしたか？



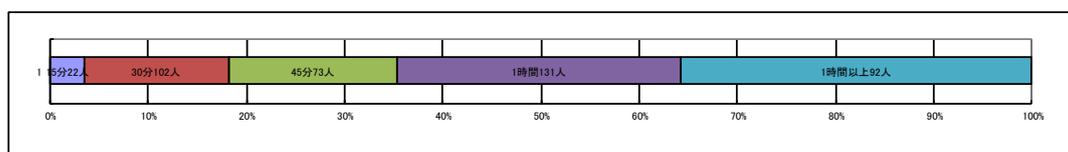
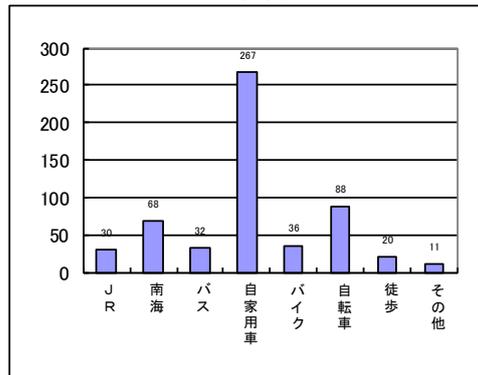
### 4. 年齢は？



### 5. どのようにしてお知りになりましたか？



### 6. 利用された交通機関は？



## ○館機構（平成31年4月1日現在）



### ○博物館職員（平成31年4月1日現在）

館長 近藤 壮  
 学芸員 山下 奈津子  
 学芸員 佐藤 顕  
 学芸員 小橋 勇介  
 学芸員 大木 要（兼務職員）  
 学芸員 額田 雅裕（再任用職員）  
 学芸員 太田 宏一（非常勤職員平成31年4月1日着任）  
 学芸員 高橋 克伸（非常勤職員）  
 事務主任 北口 繁人（再任用職員）  
 非常勤職員 宇治田良一  
 貸金支弁職員 矢田 美帆  
 貸金支弁職員 湯川 政美  
 貸金支弁職員 浅山 静代（平成31.4.1着任）  
 貸金支弁職員 前田 竹三季（平成31.4.1着任）

### ○退職職員

再任用職員 太田 宏一（平成31.3.31退任）

## ○和歌山市立博物館協議会委員名簿

◎印 会長

○印 副会長

平成31年4月1日現在

	氏名	役職	備考
学校教育の 関係者	亀位 直規	和歌山市立小学校長会会長	H30・12・18再任
	榎野 芳作	和歌山市立中学校長会会長	H30・12・18再任
社会教育の 関係者	森本 光子	和歌山文化協会会長	H30・12・18再任
	南 正晃	和歌山陸上競技協会専務理事	H30・12・18再任
	堰本 信子	和歌山市婦人団体連絡協議会会長	H30・12・18再任
学識経験の ある者	上村 雅洋	和歌山大学経済学部名誉教授	H30・12・18再任
	仲山 友章	日本放送協会和歌山放送局局长	H30・12・18再任
	島津 俊之	和歌山大学教育学部教授	H30・12・18再任
	高橋 隆博	関西大学名誉教授	H30・12・18再任
	○ 千森 督子	和歌山信愛女子短期大学教授	H30・12・18再任
	西本 昌弘	関西大学文学部教授	H30・12・18再任
	◎ 藤本 清二郎	和歌山大学名誉教授	H30・12・18再任

## ○和歌山市立博物館条例

昭和60年7月18日

条例第17号

改正 平成元年12月21日条例第66号

平成9年3月27日条例第18号

平成12年3月27日条例第24号

平成19年3月22日条例第13号

平成20年12月24日条例第68号

平成23年12月19日条例第40号

平成24年3月23日条例第23号

平成26年3月24日条例第48号

平成27年3月19日条例第31号

平成30年3月23日条例第6号

平成31年3月19日条例第32号

(設置)

第1条 本市は、郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
和歌山市立博物館	和歌山市湊本町3丁目2番地

(事業)

第3条 博物館は、法第3条第1項に定める事業その他必要な事業を行う。

(入館料)

第4条 常設展の入館料の額は、100円（20人以上の団体にあつては、1人につき80円）とする。

2 特別展の入館料の額は、2,090円とする。  
ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、減額することができる。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる者の入館（常設展に係るものに限る。）は、無料とする。

(1) 学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校（大学及び高等専門学校（第4学年及び第5学年に限る。）を除く。）をいう。第4号において同じ。）に在学する学生、生徒、児童又は幼児（同号において「学生等」という。）

(2) 認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。第4号において「認定こども園法」という。）第2条第6項に規定する認定こども園をいう。第5号において同じ。）の園児（以下この項において単に「園児」という。）

(3) 小学校就学前の者（第1号に規定する幼児及び園児を除く。）

(4) 学生等又は園児を教育課程に基づく教育活動又は保育に係る活動において引率する当該学生等が在学する学校又は当該園児が在籍する幼保連携型認定こども園（認定こども園法第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。次号において同じ。）の教員（学校教育法第7条（認定こども園法第26条において準用する場合を含む。）に規定する教員をいう。）

(5) 保育所に入所している児童又は園児を保育に係る活動において引率する当該児童が入

所している保育所の保育士又は当該園児が在籍する認定こども園（幼保連携型認定こども園を除く。）の保育に従事する職員

- 4 入館料は、前納しなければならない。  
（入館料の減免）

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

（資料の特別使用）

第6条 博物館資料について、刊行物に掲載し、又は展示することを目的として、撮影し、若しくは複写し、又は博物館資料に係る写真原板等の貸与若しくは画像等の提供を受けること（以下「特別使用」という。）をしようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

- 2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。

- (1) 博物館資料の保全上支障があるとき。
- (2) 博物館の管理上支障があるとき。
- (3) 特別使用に係る博物館資料が寄託されたものである場合に、前項の規定による申請をする者（次号において「申請者」という。）が当該博物館資料を寄託した者の同意を得ていないとき。
- (4) 特別使用に係る博物館資料に著作権者がある場合に、申請者が当該著作権者の同意を得ていないとき。
- (5) その他教育委員会が不適当と認めるとき。

3 教育委員会は、第1項の許可に必要な条件を付することができる。

- 4 第1項の許可を受けた者（次条において「特別

使用者」という。）は、別表に定める額の使用料（以下「特別使用料」という。）を前納しなければならない。

- 5 市長は、学術研究その他の公益性の高い目的を達成するために特別使用をする必要があると認めるときは、特別使用料を免除することができる。  
（特別使用の許可の取消し等）

第7条 教育委員会は、特別使用者が前条第3項の規定により許可に付された条件に違反したときは、当該許可を取り消し、又は特別使用を制限し、若しくは停止させることができる。

（入館料等の不還付）

第8条 既納の入館料及び特別使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。  
（入館等の制限）

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物又は動物を携帯する者
- (3) 建物又は附属設備若しくは備品（以下「建物等」という。）を損傷し、又は滅失するおそれがある者
- (4) 次条の規定に違反した者  
（行為の禁止）

第10条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生ずるおそれが

ある行為をすること。

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為をすること。

(3) 建物等を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれがある行為をすること。

(4) 所定の場所以外の場所で飲食し、又は喫煙すること。

(5) その他管理上支障がある行為をすること。  
(損害の賠償)

第11条 何人も、建物等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会の設置)

第12条 法第20条第1項の規定に基づき、和歌山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第13条 協議会の委員の任命は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちからこれを行うものとする。

(委員の定数)

第14条 委員の定数は、15人以内とする。

(委員の任期)

第15条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第16条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第17条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、必要に応じて開催するものとする。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、あらかじめ会議の日時、場所及び付議すべき事項を示して委員に通知しなければならない。ただし、急施を要する場合は、この限りでない。

4 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

5 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第18条 協議会の庶務は、産業交流局長及び産業交流局文化スポーツ部の職員に補助執行させる。

(規則への委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、昭和60年11月1日から施行する。

附 則（平成元年12月21日）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成9年3月27日）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月27日）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月22日）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年12月24日）

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成23年12月19日）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月23日）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月24日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月19日）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月23日）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

2 この条例による改正後の和歌山市立博物館条例別表の規定は、この条例の施行の日以後に許可をする特別使用に係る使用料について適用し、同日前に許可をした特別使用に係る使用料については、なお従前の例による。

別表（第6条関係）

特別使用料

区分	単位	使用料
博物館資料の撮影又は複写 （博物館資料の貸与を伴うものを含む。）	1点1回	2,090円
博物館資料に係る写真原板の貸与	1枚1回	2,090円
博物館資料に係る画像情報を収録した光ディスク等の貸与	1画像1回	2,090円
博物館資料に係る写真の提供	1点1回	2,090円
博物館資料に係る画像情報の電磁的方法による提供	1画像1回	2,090円

備考 複数の物で構成されるものであっても、博物館資料を分類する上で1点として取り扱うものは、1点とする。

## ○和歌山市立博物館条例施行規則

昭和60年11月1日

教委規則第3号

改正 昭和61年10月6日教委規則第4号

昭和62年3月31日教委規則第22号

平成3年3月30日教委規則第15号

平成4年3月2日教委規則第3号

平成4年4月8日教委規則第7号

平成5年3月29日教委規則第2号

平成8年3月22日教委規則第11号

平成12年3月31日教委規則第28号

平成19年3月15日教委規則第4号

平成21年3月19日教委規則第5号

平成24年2月15日教委規則第3号

平成29年2月24日教委規則第8号

平成30年3月23日教委規則第12号

（趣旨）

第1条 この規則は、和歌山市立博物館条例（昭和60年条例第17号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間等）

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更することができる。（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12月29日から翌年1月3日まで

（入館料の納付）

第4条 条例第4条の規定により、入館料を納めた者は、入館券（第1号様式）の交付を受けなければならない。

（特別展の入館料）

第5条 条例第4条第2項ただし書の規定により減額する場合における特別展の入館料の額は、特別展に要する費用の額その他の事情を考慮してその都度市長が定める。

（入館料の減免）

第5条の2 条例第5条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げる場合とし、同条の規定により減額する入館料の額又は免除は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。次条第2項において同じ。）の交付を受けている者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びそれらの者の介護人が介護のために入館するとき 免除
- (2) 本市が発行する老人優待利用券の交付を受けている者が入館するとき 免除
- (3) その他市長が特別の理由があると認めるとき 市長が必要と認める額

（入館料の減免申請）

第6条 条例第5条の規定による入館料の減額又は免除を受けようとする者は、入館料減額、免除申請書（第2号様式）を市長に提出しなければならない。

2 前項の規定は、前条第1号又は第2号に該当する者については、適用しない。この場合におい

て、同条第1号又は第2号に該当する者は、入館の際に同条第1号又は第2号に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は老人優待利用券を提示しなければならない。

（入館料の還付）

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により入館料を還付するものとする。

- (1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰することのできない特別な理由により入館できないとき。
- (2) その他特別な理由があると認めるとき。

（入館者の遵守事項）

第8条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示している博物館資料（館長が特に指定したものを除く。）に触れないこと。
- (2) 許可を受けないで展示している博物館資料の模造、模写又は撮影をしないこと。
- (3) 展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。
- (4) その他係員の指示に従うこと。

（資料）

第9条 収集した資料は、資料番号を付番し、博物館資料として整理するものとする。

（資料の貸出し）

第10条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるとき、又は特別使用のために必要と認められるときは、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出許可申請書（第3号様式）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しに係る博物館資料が寄託されたものであるときは、博物館資料貸出許可申請書

に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

- 3 教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しを許可したときは、当該申請者に、博物館資料貸出許可書（第4号様式）を交付する。

（特別使用許可の申請及び許可）

第11条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、博物館資料特別使用許可申請書（第5号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、特別使用の許可をしたときは、博物館資料特別使用許可書（第6号様式）を当該申請者に交付する。

（特別使用料の納付）

第12条 特別使用者は、博物館資料特別使用許可書の交付を受ける際に特別使用料を納付しなければならない。

（特別使用料の免除申請）

第13条 条例第6条第5項の規定により特別使用料の免除を受けようとする者は、第11条第1項に規定する申請の際に、博物館資料特別使用料免除申請書（第7号様式）を市長に提出しなければならない。

（特別使用料の還付）

第14条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により特別使用料を還付するものとする。

- (1) 特別使用者の責めに帰することのできない特別な理由により特別使用ができないとき。  
(2) その他特別な理由があると認めたとき。

（特別使用者の遵守事項）

第15条 特別使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等は、条例第6条第3項の規定により教育委員会が特別許可の条件として貸与期間を指定したときは、その期間の末

日までに返還すること。

- (2) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等を損傷し、又は滅失しないように適正に管理すること。

- (3) その他教育委員会の指示に従うこと。

（雑則）

第16条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和60年1月1日から施行する。

附 則（昭和61年10月6日）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和62年3月31日）

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（平成3年3月30日）

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成4年3月2日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則（平成4年4月8日）抄

1 この規則は、平成4年4月10日から施行する。

附 則（平成5年3月29日）抄

1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月22日）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月31日）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月15日）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年3月19日）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年2月15日）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成29年2月24日）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月23日）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

平成 30 年度

和歌山市立博物館館報 34

令和元年 5 月 24 日発行

編 集 和歌山市立博物館

和歌山市湊本町 3 丁目 2

TEL 073-423-0003

FAX 073-432-9040

発 行 和歌山市

和歌山市七番丁 23